貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ速報（YC50）

（日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋）

2015年12月28日

中央水産試験場資源管理部

地　点 （透明度m）	月日	深度 （m）	水温 （℃）	塩分 （psu）	麻痺性原因種 At 細胞/L	下痢性原因種* Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
増毛	12/22	0	8.9	33.74	0	0	0	0
（18.0）		10	9.0	33.80	0	0	0	0
		20	9.2	33.85	0	0	0	0
		30	9.3	33.87	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ･ﾀﾏﾚﾝｾ =旧名 ﾌﾟﾛﾄｺﾞﾆｵﾗｯｸｽ･ﾀﾏﾚﾝｼｽ

Aa = Alexandrium affineｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ･ｱﾌｨﾈ（無毒種）

Df=Dinophysis fortii ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾌｫﾙﾃｨ，Da=Dinophysis acuminata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀ

Dro=Dinophysis rotundata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾛﾂﾝﾀﾞｰﾀ，Di=Dinophysis infundibula ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｲﾝﾌｧﾝﾃﾞｨﾌﾞﾗ

Dm=Dinophysis mitra ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾐﾄﾗ，Dn=Dinophysis norvegica ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾉﾙｳﾞｪｼﾞｶ，Dru=Dinophysis rudgei ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾙｼﾞｪｲ

コメント

麻痺性貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝAtは、出現していません。

下痢性貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝも出現していません。

（担当：海洋環境グループ　品田晃良、嶋田　宏、佐藤政俊）

貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ速報（HK35）

（函館水試担当地区）

2015年12月17日

函館水産試験場調査研究部

地 点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	麻痺性原因種 *At* 細胞/L	麻痺性原因種 *A.o.* 細胞/L	下痢性原因種* *D.fortii* 細胞/L	下痢性原因種* *D.acum.* 細胞/L	下痢性原因種* *D*属の他種 細胞/L	備考
静内	12/9	0	11.0	33.83	0	0	0	0	0	
太平洋中部		10	11.0	33.84	0	0	0	0	0	
20.0		20	10.8	33.79	0	0	0	0	0	
		30	10.6	33.77	0	0	0	0	0	
虻田	12/14	0	9.5	31.49	0	0	0	0	0	
噴火湾東部		5	9.8	33.57	0	0	0	0	0	
11.5		10	9.8	33.62	0	0	0	0	0	
		15	9.9	33.65	0	0	0	0	0	
		20	10.1	33.69	0	0	0	0	0	
		25	10.1	33.69	0	0	0	0	0	
八雲	12/14	0	8.2	32.36	0	0	0	0	0	
噴火湾西部		5	9.3	33.35	0	0	0	0	0	
8.0		10	9.4	33.45	0	0	0	0	0	
		15	9.5	33.48	0	0	0	0	0	
		20	9.5	33.49	0	0	0	0	0	
		25	9.4	33.49	0	0	0	0	0	
		30	8.9	33.43	0	0	0	0	0	
知内	12/7	0	12.5	33.68	0	0	0	0	0	
津軽海峡		10	12.5	33.74	0	0	0	0	0	
11.0		20	12.5	33.73	0	0	0	0	0	

**D.fortii=Dinophysis fortii* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾌｫﾙﾃｨ; *D.acum.=Dinophysis acuminata* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀ

Alexandrium ｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ =旧名 ﾌﾟﾛﾄｺﾞﾆｵﾗｯｸｽ, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*

Dn=*Dinophysis norvegica*ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾉﾙｳﾞｪｼﾞｶ, Dt= *Dinophysis tripos* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾄﾘﾎﾟｽ

Dm=*Dinophysis mitra* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾐﾄﾗ, Dc=*Dinophysis caudata*ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ｺｳﾀﾞｰﾀ

Di=*Dinophysis infundibula* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ｲﾝﾌｧﾝﾃﾞﾌﾞﾗ, Dru=*Dinophysis rudgei* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾙｼﾞｪｲ

Dro=*Dinophysis rotundata* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾛﾃｭﾝﾀﾞﾀ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾西部、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾西部、津軽海峡には出現していません。

12月上旬の水温は、太平洋中部では10.6～11.0℃、津軽海峡では12.5℃です。
12月中旬の水温は、噴火湾東部では9.5～10.1℃、噴火湾西部では8.2～9.5℃です。

（担当：吉田秀嗣・金森　誠）

貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ速報（YC49）

（日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋）

2015年12月15日

中央水産試験場資源管理部

地　点 （透明度m）	月日	深度 （m）	水温 （℃）	塩分 （psu）	麻痺性原因種 At 細胞/L	下痢性原因種* Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
標津	12/14	0	4.4	31.94	0	0	20	0
(8.5)		5	4.4	31.94	0	0	10	0
		10	4.4	31.94	0	0	20	0
		15	4.4	31.94	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ･ﾀﾏﾚﾝｾ =旧名 ﾌﾟﾛﾄｺﾞﾆｵﾗｯｸｽ･ﾀﾏﾚﾝｼｽ

Aa = Alexandrium affineｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ･ｱﾌｨﾈ（無毒種）

Df=Dinophysis fortii ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾌｫﾙﾃｨ, Da=Dinophysis acuminata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀ

Dro=Dinophysis rotundata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾛﾂﾝﾀﾞｰﾀ, Di=Dinophysis infundibula ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｲﾝﾌｧﾝﾃﾞｨﾌﾞﾗ

Dm=Dinophysis mitra ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾐﾄﾗ, Dn=Dinophysis norvegica ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾉﾙｳﾞｪｼﾞｶ, Dru=Dinophysis rudgei ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾙｼﾞｪｲ

コメント

麻痺性貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝAtは、出現していません。

下痢性貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝは、標津でﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀが出現しています。

（担当：海洋環境グループ　品田晃良、嶋田　宏、佐藤政俊）

貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ速報（YC48）

（日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋）

2015年12月14日

中央水産試験場資源管理部

地　点 （透明度m）	月日	深度 （m）	水温 （℃）	塩分 （psu）	麻痺性原因種 At 細胞/L	下痢性原因種* Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
サロマ湖	12/7	0	3.0	31.29	0	20	40	0
（4.5）		3	3.0	31.31	0	0	10	0
		6	3.0	31.30	0	0	20	0
		9	3.0	31.31	0	0	10	0
		12	3.1	31.33	0	0	0	0
		15	3.1	31.32	0	0	10	0
厚岸	12/10	0	5.5	30.82	0	0	0	0
（2.4）		5	6.5	32.83	0	0	0	0
		10	6.9	32.98	0	0	0	0
		13	6.9	32.98	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ･ﾀﾏﾚﾝｾ =旧名 ﾌﾟﾛﾄｺﾞﾆｵﾗｯｸｽ･ﾀﾏﾚﾝｼｽ

Aa = Alexandrium affineｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ･ｱﾌｨﾈ（無毒種）

Df=Dinophysis fortii ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾌｫﾙﾃｨ,　Da=Dinophysis acuminata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀ

Dro=Dinophysis rotundata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾛﾂﾝﾀﾞｰﾀ,　Di=Dinophysis infundibula ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｲﾝﾌｧﾝﾃﾞｨﾌﾞﾗ

Dm=Dinophysis mitra ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾐﾄﾗ, Dn=Dinophysis norvegica ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾉﾙｳﾞｪｼﾞｶ, Dru=Dinophysis rudgei ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾙｼﾞｪｲ

コメント

麻痺性貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝAtは、出現していません。

下痢性貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝは、サロマ湖でﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾌｫﾙﾃｨとｱｷｭﾐﾅｰﾀが出現しています。

（担当：海洋環境グループ　品田晃良、嶋田　宏、佐藤政俊）

貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ速報（YC47）

（日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋）

2015年12月8日

中央水産試験場資源管理部

地　点 （透明度m）	月日	深度 （m）	水温 （℃）	塩分 （psu）	麻痺性原因種 At 細胞/L	下痢性原因種* Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
江差	11/30	0	12.7	33.18	0	0	0	0	
(8.0)		10	13.4	33.64	0	0	0	0	
		20	13.4	33.65	0	0	0	10	Dru
		30	13.3	33.67	0	0	0	0	
増毛	12/2	0	9.8	33.91	0	0	0	0	
(13.0)		10	9.8	33.95	0	0	20	0	
		20	9.8	33.94	0	0	0	0	
		30	9.8	33.94	0	0	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ･ﾀﾏﾚﾝｾ =旧名 ﾌﾟﾛﾄｺﾞﾆｵﾗｯｸｽ･ﾀﾏﾚﾝｼｽ

Aa = Alexandrium affineｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ･ｱﾌｨﾈ（無毒種）

Df=Dinophysis fortii ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾌｫﾙﾃｨ, Da=Dinophysis acuminata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀ

Dro=Dinophysis rotundata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾛﾂﾝﾀﾞｰﾀ, Di=Dinophysis infundibula ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｲﾝﾌｧﾝﾃﾞｨﾌﾞﾗ

Dm=Dinophysis mitra ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾐﾄﾗ, Dn=Dinophysis norvegica ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾉﾙｳﾞｪｼﾞｶ, Dru=Dinophysis rudgei ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾙｼﾞｪｲ

コメント

麻痺性貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝAtは、出現していません。

下痢性貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝは、江差でﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾙﾌﾞﾗが、増毛でｱｷｭﾐﾅｰﾀがわずかに出現しています。

（担当：海洋環境グループ　品田晃良、嶋田　宏、佐藤政俊）

貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ速報（HK34）

（函館水試担当地区）

2015年12月2日

函館水産試験場調査研究部

地　点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	麻痺性原因種 *At* 細胞/L	麻痺性原因種 *A*.o. 細胞/L	下痢性原因種* *D.fortii* 細胞/L	下痢性原因種* *D.acum.* 細胞/L	下痢性原因種* *D*属の他種 細胞/L	備考
八雲	11/12	0	11.7	33.32	0	0	0	0	0	
噴火湾西部		5	11.7	33.36	0	0	0	0	20	Dt20
12.0		10	11.7	33.38	0	0	0	0	0	
		15	11.7	33.40	0	0	0	0	10	Dt10
		20	11.8	33.41	0	0	0	0	0	
		25	11.8	33.43	0	0	0	0	0	
		30	11.8	33.46	0	0	0	0	0	

**D.fortii=Dinophysis fortii* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾌｫﾙﾃｨ; *D.acum.=Dinophysis acuminata* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀ

Alexandrium ｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ =旧名 ﾌﾟﾛﾄｺﾞﾆｵﾗｯｸｽ, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*

Dn=*Dinophysis norvegica*ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾉﾙｳﾞｪｼﾞｶ, Dt= *Dinophysis tripos* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾄﾘﾎﾟｽ

Dm=*Dinophysis mitra* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾐﾄﾗ, Dc=*Dinophysis caudata*ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ｺｳﾀﾞｰﾀ

Di=*Dinophysis infundibula* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ｲﾝﾌｧﾝﾃﾞﾌﾞﾗ, Dru=*Dinophysis rudgei* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾙｼﾞｪｲ

Dro=*Dinophysis rotundata* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾛﾃｭﾝﾀﾞﾀ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾西部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾西部に出現しています。

11月中旬の水温は、噴火湾西部では11.7～11.8℃です。

（担当：吉田秀嗣・金森　誠）

貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ速報（YC46）

（日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋）

2015年11月24日

中央水産試験場資源管理部

地　点 （透明度m）	月日	深度 （m）	水温 （℃）	塩分 （psu）	麻痺性原因種 At 細胞/L	下痢性原因種* Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
猿払	11/12	0	10.1	33.99	0	0	0	0	
ー		10	10.1	33.99	0	0	0	10	Dm
		15	10.1	33.99	0	0	0	0	
		20	10.1	33.99	0	0	0	0	
標津	11/18	0	10.4	33.32	0	0	90	0	
(8.5)		5	10.4	33.34	0	0	50	0	
		10	10.4	33.35	0	0	50	0	
		15	10.4	33.36	0	0	20	0	

*At = Alexandrium tamarenseｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ･ﾀﾏﾚﾝｾ =旧名 ﾌﾟﾛﾄｺﾞﾆｵﾗｯｸｽ･ﾀﾏﾚﾝｼｽ

Aa = Alexandrium affineｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ･ｱﾌｨﾈ（無毒種）

Df=Dinophysis fortii ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾌｫﾙﾃｨ,　Da=Dinophysis acuminata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀ

Dro=Dinophysis rotundata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾛﾂﾝﾀﾞｰﾀ,　Di=Dinophysis infundibula ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｲﾝﾌｧﾝﾃﾞｨﾌﾞﾗ

Dm=Dinophysis mitra ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾐﾄﾗ, Dn=Dinophysis norvegica ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾉﾙｳﾞｪｼﾞｶ, Dru=Dinophysis rudgei ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾙｼﾞｪｲ

コメント

麻痺性貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝAtは、出現していません。

下痢性貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝは、標津でﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀが出現しています。
その他、ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾐﾄﾗが猿払で少し出現しています。

（担当：海洋環境グループ　品田晃良、嶋田　宏、佐藤政俊）

貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ速報（YC45）

（日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋）

2015年11月18日

中央水産試験場資源管理部

地　点 （透明度m）	月日	深度 （m）	水温 （℃）	塩分 （psu）	麻痺性原因種 At 細胞/L	下痢性原因種* Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
能取湖	11/17	0	7.13	31.55	0	130	360	110	Di
（7.6）		10	7.35	32.38	0	40	40	30	Di
サロマ湖	11/16	0	7.1	31.93	0	0	50	10	Dn
（5.5）		3	7.1	31.93	0	10	100	0	
		6	7.3	32.32	0	0	90	0	
		9	7.8	32.36	0	0	10	10	Di
		12	8.6	33.10	0	0	0	0	
		15	8.9	32.99	0	0	0	0	
常呂	11/17	0	5.9	31.51	0	0	30	0	
（7.0）		10	5.7	31.83	0	0	10	0	
		20	5.9	31.89	0	0	0	0	
		30	6.0	32.03	0	0	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ･ﾀﾏﾚﾝｾ =旧名 ﾌﾟﾛﾄｺﾞﾆｵﾗｯｸｽ･ﾀﾏﾚﾝｼｽ

Aa = Alexandrium affineｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ･ｱﾌｨﾈ（無毒種）

Df=Dinophysis fortii ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾌｫﾙﾃｨ,　Da=Dinophysis acuminata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀ

Dro=Dinophysis rotundata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾛﾂﾝﾀﾞｰﾀ,　Di=Dinophysis infundibula ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｲﾝﾌｧﾝﾃﾞｨﾌﾞﾗ

Dm=Dinophysis mitra ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾐﾄﾗ, Dn=Dinophysis norvegica ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾉﾙｳﾞｪｼﾞｶ, Dru=Dinophysis rudgei ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾙｼﾞｪｲ

コメント

麻痺性貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝAtは、出現していません。

下痢性貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝは、ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾌｫﾙﾃｨ、ｱｷｭﾐﾅｰﾀ、ｲﾝﾌｧﾝﾃﾞｨﾌﾞﾗおよびﾉﾙｳﾞｪｼﾞｶが出現していま

（担当：海洋環境グループ　品田晃良、嶋田　宏、佐藤政俊）

貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ速報（HK33）

（函館水試担当地区）

2015年11月17日

函館水産試験場調査研究部

地　点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	麻痺性原因種 *At* 細胞/L	麻痺性原因種 *A.o.* 細胞/L	下痢性原因種* *D.fortii* 細胞/L	下痢性原因種* *D.acum.* 細胞/L	下痢性原因種* *D*属の他種 細胞/L	備考
静内	11/9	0	14.7	33.87	0	0	0	0	0	
太平洋中部		10	14.1	33.79	0	0	0	0	10	Di10
10.0		20	14.2	33.90	0	0	0	0	0	
		30	13.2	33.75	0	0	0	0	0	
虻田	11/4	0	12.2	33.41	0	0	0	0	0	
噴火湾東部		5	12.2	33.41	0	0	0	0	10	Dt10
13.5		10	12.4	33.58	0	0	0	0	40	Dt40
		15	12.6	33.63	0	0	0	0	0	
		20	12.4	33.64	0	0	0	0	0	
		25	12.4	33.69	0	0	0	0	0	
森	11/12	0	12.2	33.58	0	0	0	0	0	
噴火湾西部		10	12.3	33.60	0	0	0	0	0	
15.0		20	12.3	33.62	0	0	0	0	0	
		30	12.2	33.62	0	0	0	0	0	
知内	11/11	0	15.1	33.45	0	0	0	0	0	
津軽海峡		10	15.2	33.47	0	0	0	0	0	
9.0		20	15.4	33.66	0	0	0	0	0	

**D.fortii=Dinophysis fortii* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾌｫﾙﾃｨ; *D.acum.=Dinophysis acuminata* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀ

Alexandrium ｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ =旧名 ﾌﾟﾛﾄｺﾞﾆｵﾗｯｸｽ, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*

Dn=*Dinophysis norvegica*ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾉﾙｳﾞｪｼﾞｶ, Dt= *Dinophysis tripos* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾄﾘﾎﾟｽ

Dm=*Dinophysis mitra* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾐﾄﾗ, Dc=*Dinophysis caudata*ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ｺｳﾀﾞｰﾀ

Di=*Dinophysis infundibula* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ｲﾝﾌｧﾝﾃﾞﾌﾞﾗ, Dru=*Dinophysis rudgei* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾙｼﾞｪｲ

Dro=*Dinophysis rotundata* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾛﾃｭﾝﾀﾞﾀ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾西部、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾東部に出現していますが、噴火湾西部、津軽海峡には出現していません。

11月上旬の水温は、太平洋中部では13.2～14.7℃、噴火湾東部では12.2～12.6℃、11月中旬の水温は、噴火湾西部では12.2～12.3℃、津軽海峡では15.1～15.4℃です。

（担当：吉田秀嗣・金森　誠）

貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ速報（YC44）

（日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋）

2015年11月12日

中央水産試験場資源管理部

地　点 （透明度m）	月日	深度 （m）	水温 （℃）	塩分 （psu）	麻痺性原因種 At 細胞/L	下痢性原因種* Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
厚岸	11/11	0	9.7	33.03	0	0	10	0	
（3.0）		5	9.8	33.03	0	0	10	10	Dro10
		10	9.8	33.05	0	0	10	0	
		13	9.8	33.05	0	0	10	0	
能取湖	11/5	0	9.4	32.77	0	70	10	0	
（10.5）		10	9.1	32.81	0	180	110	60	Di

*At = Alexandrium tamarenseｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ･ﾀﾏﾚﾝｾ =旧名 ﾌﾟﾛﾄｺﾞﾆｵﾗｯｸｽ･ﾀﾏﾚﾝｼｽ

Aa = Alexandrium affineｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ･ｱﾌｨﾈ（無毒種）

Df=Dinophysis fortii ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾌｫﾙﾃｨ，Da=Dinophysis acuminata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀ

Dro=Dinophysis rotundata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾛﾂﾝﾀﾞｰﾀ，Di=Dinophysis infundibula ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｲﾝﾌｧﾝﾃﾞｨﾌﾞﾗ

Dm=Dinophysis mitra ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾐﾄﾗ，Dn=Dinophysis norvegica ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾉﾙｳﾞｪｼﾞｶ，Dru=Dinophysis rudgei ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾙｼﾞｪｲ

コメント

麻痺性貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝAtは、厚岸でわずかに出現しています。

下痢性貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝは、能取湖でﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾌｫﾙﾃｨが多く出現しています。
その他、ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀ、ﾛﾂﾝﾀﾞｰﾀ、ｲﾝﾌｧﾝﾃﾞｨﾌﾞﾗが出現しています。

（担当：海洋環境グループ　品田晃良、嶋田　宏、佐藤政俊）

貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ速報（YC43）

（日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋）

2015年11月2日

中央水産試験場資源管理部

地　点 （透明度m）	月日	深度 （m）	水温 （℃）	塩分 （psu）	麻痺性原因種 At 細胞/L	下痢性原因種* Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
江差	10/23	0	16.3	33.68	0	0	0	0	
（12.0）		10	16.3	33.68	0	0	0	0	
		20	15.8	33.77	0	0	0	10	Dro
		30	15.6	33.81	0	0	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ･ﾀﾏﾚﾝｾ =旧名 ﾌﾟﾛﾄｺﾞﾆｵﾗｯｸｽ･ﾀﾏﾚﾝｼｽ

Aa = Alexandrium affineｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ･ｱﾌｨﾈ（無毒種）

Df=Dinophysis fortii ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾌｫﾙﾃｨ,　Da=Dinophysis acuminata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀ

Dro=Dinophysis rotundata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾛﾂﾝﾀﾞｰﾀ,　Di=Dinophysis infundibula ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｲﾝﾌｧﾝﾃﾞｨﾌﾞﾗ

Dm=Dinophysis mitra ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾐﾄﾗ, Dn=Dinophysis norvegica ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾉﾙｳﾞｪｼﾞｶ, Dru=Dinophysis rudgei ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾙｼﾞｪｲ

コメント

麻痺性貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝAtは、出現していません。

下痢性貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝは、ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾛﾂﾝﾀﾞｰﾀがわずかに出現しています。

（担当：海洋環境グループ　品田晃良、嶋田　宏、佐藤政俊）

貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ速報（HK32）

（函館水試担当地区）

2015年10月27日

函館水産試験場調査研究部

地 点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	麻痺性原因種 *At* 細胞/L	麻痺性原因種 *A.o.* 細胞/L	下痢性原因種* *D.fortii* 細胞/L	下痢性原因種* *D.acum.* 細胞/L	下痢性原因種* *D*属の他種 細胞/L	備考
八雲	10/19	0	13.7	32.91	0	0	0	0	0	
噴火湾西部		5	13.8	33.04	0	0	0	0	0	
10.5		10	13.3	33.15	0	0	0	0	20	Dt20
		15	11.3	33.29	0	0	0	0	10	Dt10
		20	11.0	33.37	0	0	0	0	0	
		25	10.9	33.40	0	0	0	0	0	
		30	10.8	33.42	0	0	0	0	0	
森	10/19	0	15.4	33.63	0	0	0	10	0	
噴火湾西部		10	15.3	33.64	0	0	0	0	0	
11.5		20	15.1	33.65	0	0	0	0	20	Dt20
		30	9.8	33.31	0	0	0	0	0	
鹿部	10/16	0	15.8	33.75	0	0	0	0	0	
噴火湾湾口部		5	15.7	33.75	0	0	0	0	0	
11.5		10	15.6	33.76	0	0	0	0	10	Dc10
		15	15.6	33.77	0	0	0	0	0	
		20	15.5	33.76	0	0	0	0	0	
		25	13.4	33.80	0	0	0	0	0	
		30	10.9	33.82	0	0	0	0	0	
		40	9.8	33.85	0	0	0	0	0	
知内	10/14	0	15.7	33.92	0	0	0	0	10	Di10
津軽海峡		10	15.7	33.93	0	0	0	0	0	
11.0		20	15.5	34.02	0	0	0	0	0	

**D.fortii=Dinophysis fortii* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾌｫﾙﾃｨ; *D.acum.=Dinophysis acuminata* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀ

Alexandrium ｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ =旧名 ﾌﾟﾛﾄｺﾞﾆｵﾗｯｸｽ, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*

Dn=*Dinophysis norvegica*ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾉﾙｳﾞｪｼﾞｶ, Dt= *Dinophysis tripos* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾄﾘﾎﾟｽ

Dm=*Dinophysis mitra* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾐﾄﾗ, Dc=*Dinophysis caudata*ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ｺｳﾀﾞｰﾀ

Di=*Dinophysis infundibula* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ｲﾝﾌｧﾝﾃﾞﾌﾞﾗ, Dru=*Dinophysis rudgei* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾙｼﾞｪｲ

Dro=*Dinophysis rotundata* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾛﾃｭﾝﾀﾞﾀ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾西部、噴火湾湾口部、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾西部、噴火湾湾口部、津軽海峡に出現しています。

10月中旬の水温は、噴火湾西部では9.8～15.4℃、噴火湾湾口部では9.8～15.8℃、津軽海峡では15.5～15.7℃です。

（担当：吉田秀嗣・金森　誠）

貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ速報（YC42）

（日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋）

2015年10月23日

中央水産試験場資源管理部

地　点 （透明度m）	月日	深度 （m）	水温 （℃）	塩分 （psu）	麻痺性原因種 At 細胞/L	下痢性原因種* Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
サロマ湖	10/19	0	13.5	32.30	0	20	0	0	
		3	13.5	32.43	0	10	0	0	
		6	13.5	32.46	0	0	30	10	Dm
		9	13.6	32.62	0	10	10	0	
		12	13.7	32.77	0	0	0	20	Di
		15	13.7	32.84	0	0	10	10	Di
常呂	10/20	0	11.3	33.01	0	0	0	0	
(7.0)		10	10.8	33.04	0	0	0	0	
		20	10.8	33.07	0	0	20	0	
		30	11.5	33.35	0	0	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ･ﾀﾏﾚﾝｾ =旧名 ﾌﾟﾛﾄｺﾞﾆｵﾗｯｸｽ･ﾀﾏﾚﾝｼｽ

Aa = Alexandrium affineｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ･ｱﾌｨﾈ（無毒種）

Df=Dinophysis fortii ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾌｫﾙﾃｨ,　Da=Dinophysis acuminata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀ

Dro=Dinophysis rotundata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾛﾂﾝﾀﾞｰﾀ,　Di=Dinophysis infundibula ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｲﾝﾌｧﾝﾃﾞｨﾌﾞﾗ

Dm=Dinophysis mitra ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾐﾄﾗ, Dn=Dinophysis norvegica ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾉﾙｳﾞｪｼﾞｶ, Dru=Dinophysis rudgei ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾙｼﾞｪｲ

コメント

麻痺性貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝAtは、出現していません。

下痢性貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝは、ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾌｫﾙﾃｨ、ｱｷｭﾐﾅｰﾀ、ｲﾝﾌｧﾝﾃﾞｨﾌﾞﾗおよびﾐﾄﾗが出現しています。

（担当：海洋環境グループ　品田晃良、嶋田　宏、佐藤政俊）

貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ速報（YC41）

（日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋）

2015年10月14日

中央水産試験場資源管理部

地　点 （透明度m）	月日	深度 （m）	水温 （℃）	塩分 （psu）	麻痺性原因種 At 細胞/L	下痢性原因種* Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
猿払	10/5	0	17.5	33.86	0	0	0	10	Dro10
―		10	17.5	33.91	0	0	0	10	Dro10
		15	17.5	33.91	0	0	0	0	
		20	17.5	33.93	0	0	0	0	
厚岸	10/6	0	14.5	31.97	10	0	30	10	Di10
(2.3)		5	13.8	32.95	0	0	30	10	Di10
		10	12.5	33.12	10	0	0	10	Di10
		13	11.1	33.27	0	0	0	0	
標津	10/13	0	14.8	33.10	0	0	0	20	Dro20
(5.0)		5	14.9	33.29	0	10	0	0	
		10	15.0	33.45	0	0	0	20	Dro10, Dm10
		15	15.0	33.49	0	0	0	30	Dro20, Dm10
能取湖	10/7	0	16.1	33.47	0	40	20	30	Din20, Dm10
(6.3)		10	15.8	33.40	0	210	30	80	Di80

*At = Alexandrium tamarenseｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ･ﾀﾏﾚﾝｾ =旧名 ﾌﾟﾛﾄｺﾞﾆｵﾗｯｸｽ･ﾀﾏﾚﾝｼｽ

Aa = Alexandrium affineｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ･ｱﾌｨﾈ（無毒種）

Df=Dinophysis fortii ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾌｫﾙﾃｨ,　Da=Dinophysis acuminata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀ

Dro=Dinophysis rotundata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾛﾂﾝﾀﾞｰﾀ,　Di=Dinophysis infundibula ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｲﾝﾌｧﾝﾃﾞｨﾌﾞﾗ

Dm=Dinophysis mitra ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾐﾄﾗ, Dn=Dinophysis norvegica ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾉﾙｳﾞｪｼﾞｶ, Dru=Dinophysis rudgei ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾙｼﾞｪｲ

コメント

麻痺性貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝAtは、厚岸でわずかに出現しています。

下痢性貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝは、能取湖でﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾌｫﾙﾃｨがやや多く出現しています。
その他、ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀ、ﾛﾂﾝﾀﾞｰﾀ、ｲﾝﾌｧﾝﾃﾞｨﾌﾞﾗ、ﾐﾄﾗが少し出現しています。

（担当：海洋環境グループ　品田晃良、嶋田　宏、佐藤政俊）

貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ速報（HK31）

（函館水試担当地区）

2015年10月8日

函館水産試験場調査研究部

地　点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	麻痺性原因種 *At* 細胞/L	麻痺性原因種 *A*.o. 細胞/L	下痢性原因種* *D.fortii* 細胞/L	下痢性原因種* *D.acum.* 細胞/L	下痢性原因種* *D*属の他種 細胞/L	備考
静内	10/5	0	17.0	33.38	0	0	0	0	50	Dt10, Dc40
太平洋中部		10	16.8	33.70	0	0	0	0	30	Dt30
3.5		20	14.2	33.83	0	0	0	0	0	
		30	12.7	33.93	0	0	0	0	0	
虻田	10/5	0	17.3	32.63	0	0	0	0	20	Dt20
噴火湾東部		5	17.3	32.68	0	0	0	0	0	
10.5		10	17.2	33.00	0	0	0	0	40	Dt40
		15	16.9	33.09	0	0	0	0	10	Dt10
		20	16.2	33.59	0	0	0	0	0	
		25	15.6	33.79	0	0	0	0	0	

**D.fortii=Dinophysis fortii* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾌｫﾙﾃｨ; *D.acum.=Dinophysis acuminata* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀ

Alexandrium ｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ =旧名 ﾌﾟﾛﾄｺﾞﾆｵﾗｯｸｽ, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*

Dn=*Dinophysis norvegica*ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾉﾙｳﾞｪｼﾞｶ, Dt= *Dinophysis tripos* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾄﾘﾎﾟｽ

Dm=*Dinophysis mitra* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾐﾄﾗ, Dc=*Dinophysis caudata*ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ｺｳﾀﾞｰﾀ

Di=*Dinophysis infundibula* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ｲﾝﾌｧﾝﾃﾞﾌﾞﾗ, Dru=*Dinophysis rudgei* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾙｼﾞｪｲ

Dro=*Dinophysis rotundata* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾛﾃｭﾝﾀﾞﾀ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾東部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾東部に出現しています。

10月上旬の水温は、太平洋中部では12.7～17.0℃、噴火湾東部では15.6～17.3℃です。

（担当：吉田秀嗣・金森　誠）

貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ速報（HK30）

（函館水試担当地区）

2015年9月30日

函館水産試験場調査研究部

地 点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	麻痺性原因種 *At* 細胞/L	麻痺性原因種 *A.o.* 細胞/L	下痢性原因種* *D.fortii* 細胞/L	下痢性原因種* *D.acum.* 細胞/L	下痢性原因種* *D*属の他種 細胞/L	備考
八雲	9/14	0	20.0	29.47	0	0	0	0	40	Dt30, Dro10
噴火湾西部		5	20.2	31.95	0	0	0	0	240	Dt230, Dro10
5.0		10	19.8	32.26	0	0	0	0	30	Dt30
		15	19.5	32.50	0	0	0	0	10	Dt10
		20	19.1	32.66	0	0	0	0	0	
		25	18.9	32.72	0	0	0	0	0	
		30	18.3	32.73	0	0	0	0	0	
森	9/17	0	20.2	31.73	0	0	0	0	0	
噴火湾西部		10	20.2	32.31	0	0	0	0	10	Dc10
15.0		20	19.9	33.23	0	0	0	0	0	
		30	17.9	33.09	0	0	0	0	0	
鹿部	9/15	0	20.0	32.29	0	0	0	0	60	Dt50, Dm10
噴火湾湾口部		5	19.9	32.39	0	0	0	10	100	Dt100
10.0		10	19.8	32.61	0	0	0	0	200	Dt200
		15	19.1	32.86	0	0	0	0	90	Dt90
		20	19.6	33.27	0	0	0	0	90	Dt90
		25	19.7	33.33	0	0	0	0	140	Dt140
		30	18.9	33.22	0	0	0	0	30	Dt30
		40	13.7	33.09	0	0	0	0	0	
知内	9/17	0	21.2	33.66	0	0	0	0	0	
津軽海峡		10	20.5	33.87	0	0	0	0	0	
10.0		20	19.2	34.01	0	0	0	0	0	

**D.fortii=Dinophysis fortii* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾌｫﾙﾃｨ; *D.acum.=Dinophysis acuminata* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀ

Alexandrium ｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ =旧名 ﾌﾟﾛﾄｺﾞﾆｵﾗｯｸｽ, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*

Dn=*Dinophysis norvegica*ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾉﾙｳﾞｪｼﾞｶ, Dt= *Dinophysis tripos* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾄﾘﾎﾟｽ

Dm=*Dinophysis mitra* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾐﾄﾗ, Dc=*Dinophysis caudata*ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ｺｳﾀﾞｰﾀ

Di=*Dinophysis infundibula* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ｲﾝﾌｧﾝﾃﾞﾌﾞﾗ, Dru=*Dinophysis rudgei* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾙｼﾞｪｲ

Dro=*Dinophysis rotundata* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾛﾃｭﾝﾀﾞﾀ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾西部、噴火湾湾口部、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾西部、噴火湾湾口部に出現していますが、津軽海峡には出現していません。

9月中旬の水温は、噴火湾西部では17.9～20.2℃、噴火湾湾口部では13.7～20.0℃、津軽海峡では19.2～21.2℃です。

（担当：吉田秀嗣・金森　誠）

貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ速報（YC40）

（日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋）

2015年9月24日

中央水産試験場資源管理部

地　点 （透明度m）	月日	深度 （m）	水温 （℃）	塩分 （psu）	麻痺性原因種 At 細胞/L	下痢性原因種* Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
江差	9/15	0	21.7	33.38	0	0	0	0	
（16.0）		10	21.5	33.86	0	0	0	10	Dru
		20	21.3	33.97	0	0	0	0	
		30	19.4	34.09	0	0	0	10	Di
浜益	9/14	0	21.0	31.06	0	0	0	0	
（4.5）		10	21.1	33.19	0	0	0	0	
		20	21.4	33.67	0	0	0	0	
		30	21.0	33.87	0	0	0	0	
増毛	9/16	0	21.1	33.99	0	0	0	0	
（9.0）		10	21.1	33.97	0	0	0	0	
		20	21.1	33.97	0	0	0	0	
		30	21.1	33.97	0	0	0	0	
標津	9/18	0	17.6	32.83	0	0	30	0	
（7.0）		5	17.6	32.85	0	0	40	20	Dru,Di
		10	17.5	32.86	0	0	20	10	Di
		15	17.5	32.88	0	30	40	10	Di

*At = Alexandrium tamarenseｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ･ﾀﾏﾚﾝｾ =旧名 ﾌﾟﾛﾄｺﾞﾆｵﾗｯｸｽ･ﾀﾏﾚﾝｼｽ

Aa = Alexandrium affineｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ･ｱﾌｨﾈ（無毒種）

Df=Dinophysis fortii ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾌｫﾙﾃｨ,　Da=Dinophysis acuminata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀ

Dro=Dinophysis rotundata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾛﾂﾝﾀﾞｰﾀ,　Di=Dinophysis infundibula ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｲﾝﾌｧﾝﾃﾞｨﾌﾞﾗ

Dm=Dinophysis mitra ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾐﾄﾗ, Dn=Dinophysis norvegica ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾉﾙｳﾞｪｼﾞｶ, Dru=Dinophysis rudgei ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾙｼﾞｪｲ

コメント

麻痺性貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝAtは、出現していません。

下痢性貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝは、標津でﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾌｫﾙﾃｨ、ｱｷｭﾐﾅｰﾀなどが少し出現しています。

（担当：海洋環境グループ　品田晃良、嶋田　宏、佐藤政俊）

貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ速報（YC39）

（日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋）

2015年9月17日

中央水産試験場資源管理部

地　点 （透明度m）	月日	深度 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	麻痺性原因種 At 細胞/L		下痢性原因種* Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
猿払	9/8	0	19.9	33.78	0		0	0	20	Dro20
－		10	19.3	33.83	0		0	0	100	Dro40, Dm60
		15	19.2	33.85	0		0	0	30	Dro30
		20	19.2	33.85	0		0	0	40	Dro20, Dm20
サロマ湖	9/14	0	18.8	33.20	0	Aa120	20	0	0	
(5.8)		3	18.8	32.59	0		10	0	0	
		6	18.7	32.59	0		10	0	0	
		9	18.8	32.87	0		60	0	0	
		12	17.9	33.20	0		0	0	0	
		15	17.6	33.22	0		0	0	0	
常呂	9/14	0	17.3	33.16	0		0	0	20	Dro10, Dm10
(5.0)		10	17.1	33.60	0		0	0	0	
		20	16.8	33.79	0		10	0	10	Dro10
		30	16.7	33.77	0		0	10	0	

*At = Alexandrium tamarenseｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ･ﾀﾏﾚﾝｾ =旧名 ﾌﾟﾛﾄｺﾞﾆｵﾗｯｸｽ･ﾀﾏﾚﾝｼｽ

Aa = Alexandrium affineｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ･ｱﾌｨﾈ（無毒種）

Df=Dinophysis fortii ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾌｫﾙﾃｨ,　Da=Dinophysis acuminata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀ

Dro=Dinophysis rotundata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾛﾂﾝﾀﾞｰﾀ,　Di=Dinophysis infundibula ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｲﾝﾌｧﾝﾃﾞｨﾌﾞﾗ

Dm=Dinophysis mitra ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾐﾄﾗ, Dn=Dinophysis norvegica ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾉﾙｳﾞｪｼﾞｶ, Dru=Dinophysis rudgei ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾙｼﾞｪｲ

コメント

麻痺性貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝAtは、出現していません。

下痢性貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝは、ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾌｫﾙﾃｨ、ｱｷｭﾐﾅｰﾀ、ﾛﾂﾝﾀﾞｰﾀおよびﾐﾄﾗが出現しています。

（担当：海洋環境グループ　品田晃良、嶋田　宏、佐藤政俊）

貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ速報（HK29）

（函館水試担当地区）

2015年9月11日

函館水産試験場調査研究部

地　点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	麻痺性原因種 *At* 細胞/L	麻痺性原因種 *A*.o. 細胞/L	下痢性原因種* *D.fortii* 細胞/L	下痢性原因種* *D.acum.* 細胞/L	下痢性原因種* *D*属の他種 細胞/L	備考
虻田	9/7	0	20.8	31.05	0	0	0	0	0	
噴火湾東部		5	20.4	32.52	0	0	0	0	0	
15.0		10	19.3	32.69	0	0	0	0	40	Dt40
		15	17.7	32.95	0	0	0	0	0	
		20	14.9	33.10	0	0	0	0	0	
		25	13.5	33.20	0	0	0	0	0	

**D.fortii=Dinophysis fortii* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾌｫﾙﾃｨ; *D.acum.=Dinophysis acuminata* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀ

Alexandrium ｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ =旧名 ﾌﾟﾛﾄｺﾞﾆｵﾗｯｸｽ, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*

Dn=*Dinophysis norvegica*ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾉﾙｳﾞｪｼﾞｶ, Dt= *Dinophysis tripos* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾄﾘﾎﾟｽ

Dm=*Dinophysis mitra* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾐﾄﾗ, Dc=*Dinophysis caudata*ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ｺｳﾀﾞｰﾀ

Di=*Dinophysis infundibula* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ｲﾝﾌｧﾝﾃﾞﾌﾞﾗ, Dru=*Dinophysis rudgei* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾙｼﾞｪｲ

Dro=*Dinophysis rotundata* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾛﾃｭﾝﾀﾞﾀ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾東部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾東部に出現しています。

噴火湾東部の9月上旬の水温は、13.5～20.8℃です。

（担当：吉田秀嗣・金森　誠）

貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ速報（YC38）

（日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋）

2015年9月9日

中央水産試験場資源管理部

地　点 （透明度m）	月日	深度 （m）	水温 （℃）	塩分 （psu）	麻痺性原因種 At 細胞/L	下痢性原因種* Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
能取湖	9/7	0	19.9	32.98	0	200	50	0	
(3.5)		10	19.1	33.45	0	330	40	50	Dro30, Di20
厚岸	9/7	0	17.8	31.97	0	60	320	10	Dro10
(3.5)		5	17.4	32.09	0	40	430	80	Dro40, Di40
		10	15.3	32.75	0	80	330	60	Di60
		13	14.7	32.83	0	20	20	0	

*At = Alexandrium tamarenseｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ・ﾀﾏﾚﾝｾ =旧名 ﾌﾟﾛﾄｺﾞﾆｵﾗｯｸｽ・ﾀﾏﾚﾝｼｽ

Aa = Alexandrium affineｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ・ｱﾌｨﾈ（無毒種）
Df=Dinophysis fortii ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ・ﾌｫﾙﾃｨ,　Da=Dinophysis acuminata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ・ｱｷｭﾐﾅｰﾀ
Dro=Dinophysis rotundata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ・ﾛﾂﾝﾀﾞｰﾀ,　Di=Dinophysis infundibula ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ・ｲﾝﾌｧﾝﾃﾞｨﾌﾞﾗ
Dm=Dinophysis mitra ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ・ﾐﾄﾗ, Dn=Dinophysis norvegica ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ・ﾉﾙｳﾞｪｼﾞｶ, Dru=Dinophysis rudgei ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾙｼﾞｪｲ

コメント
麻痺性貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝAtは、出現していません。

下痢性貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝは、能取湖でﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ・ﾌｫﾙﾃｨが多く出現しています。
厚岸ではﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ・ｱｷｭﾐﾅｰﾀが多く出現しています。

（担当：海洋環境グループ　品田晃良、嶋田　宏、佐藤政俊）

貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ速報（HK28）

（函館水試担当地区）

2015年9月9日

函館水産試験場調査研究部

地　点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	麻痺性原因種 *At* 細胞/L	麻痺性原因種 *A*.o. 細胞/L	下痢性原因種* *D.fortii* 細胞/L	下痢性原因種* *D.acum.* 細胞/L	下痢性原因種* *D*属の他種 細胞/L	備考
静内	9/4	0	20.5	33.33	0	0	0	0	0	
太平洋中部		10	20.2	33.47	0	0	0	0	0	
14.0		20	19.5	33.67	0	0	0	0	70	Dt70
		30	15.4	33.81	0	0	0	0	20	Dt20
八雲	9/1	0	22.0	31.78	0	0	0	0	140	Dt120, Dro20
噴火湾西部		5	21.2	31.79	0	0	0	0	20	Dt20
8.0		10	21.0	31.89	0	0	0	0	50	Dm40, Dro10
		15	19.2	32.34	0	0	0	0	10	Dt10
		20	20.6	33.25	0	0	0	0	0	
		25	18.4	32.84	0	0	0	0	0	
		30	17.0	32.62	0	0	0	0	0	

**D.fortii=Dinophysis fortii* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾌｫﾙﾃｨ; *D.acum.=Dinophysis acuminata* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀ

Alexandrium ｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ =旧名 ﾌﾟﾛﾄｺﾞﾆｵﾗｯｸｽ, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*

Dn=*Dinophysis norvegica*ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾉﾙｳﾞｪｼﾞｶ, Dt= *Dinophysis tripos* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾄﾘﾎﾟｽ

Dm=*Dinophysis mitra* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾐﾄﾗ, Dc=*Dinophysis caudata*ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ｺｳﾀﾞｰﾀ

Di=*Dinophysis infundibula* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ｲﾝﾌｧﾝﾃﾞﾌﾞﾗ, Dru=*Dinophysis rudgei* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾙｼﾞｪｲ

Dro=*Dinophysis rotundata* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾛﾃｭﾝﾀﾞﾀ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、太平洋中部，噴火湾西部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾西部に出現しています。

9月上旬の水温は、太平洋中部では15.4～20.5℃，噴火湾西部では17.0～22.0℃です。

（担当：吉田秀嗣・金森　誠）

貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ速報（YC37）

（日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋）

2015年9月1日

中央水産試験場資源管理部

地　点 （透明度m）	月日	深度 （m）	水温 （℃）	塩分 （psu）	麻痺性原因種 At 細胞/L	下痢性原因種* Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
標津	8/26	0	18.0	32.71	0	0	0	0	
(8.5)		5	17.7	32.72	0	0	10	0	
		10	17.7	32.72	0	0	10	0	
		15	17.6	32.72	0	0	30	0	
厚岸	8/28	0	16.2	32.18	10	0	50	0	
(1.0)		5	15.7	32.29	0	0	60	10	Di
		10	14.9	32.77	0	40	300	10	Di
		13	14.5	32.78	0	40	210	0	
増毛	8/26	0	21.8	32.92	0	0	0	0	
(7.0)		10	19.0	33.94	0	0	0	50	Dro30, Dm20
		20	18.0	34.00	0	0	0	30	Dro20, Dm10
		30	15.3	34.02	0	0	0	10	Dro10

*At = Alexandrium tamarenseｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ・ﾀﾏﾚﾝｾ =旧名 ﾌﾟﾛﾄｺﾞﾆｵﾗｯｸｽ・ﾀﾏﾚﾝｼｽ

Aa = Alexandrium affineｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ・ｱﾌｨﾈ（無毒種）
Df=Dinophysis fortii ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ・ﾌｫﾙﾃｨ，Da=Dinophysis acuminata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ・ｱｷｭﾐﾅｰﾀ
Dro=Dinophysis rotundata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ・ﾛﾂﾝﾀﾞｰﾀ，Di=Dinophysis infundibula ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ・ｲﾝﾌｧﾝﾃﾞｨﾌﾞﾗ
Dm=Dinophysis mitra ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ・ﾐﾄﾗ，Dn=Dinophysis norvegica ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ・ﾉﾙｳﾞｪｼﾞｶ，Dru=Dinophysis rudgei ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾙｼﾞｪｲ

コメント
麻痺性貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝAtは、厚岸でわずかに出現しています。

下痢性貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝは、標津でﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ・ｱｷｭﾐﾅｰﾀが多く出現しています。
厚岸ではﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ・ﾌｫﾙﾃｨ、ｱｷｭﾐﾅｰﾀおよびｲﾝﾌｧﾝﾃﾞｨﾌﾞﾗが出現しています。
増毛ではﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ・ﾛﾂﾝﾀﾞｰﾀとﾐﾄﾗが出現しています。

（担当：海洋環境グループ　品田晃良、嶋田　宏、佐藤政俊）

貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ速報（HK27）

（函館水試担当地区）

2015年8月27日

函館水産試験場調査研究部

地　点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	麻痺性原因種 *At* 細胞/L	麻痺性原因種 *A*.o. 細胞/L	下痢性原因種* *D.fortii* 細胞/L	下痢性原因種* *D.acum.* 細胞/L	下痢性原因種* *D*属の他種 細胞/L	備考
鹿部	8/21	0	20.7	32.00	0	0	0	0	0	
噴火湾湾口部		5	19.9	32.05	0	0	0	0	270	Dt60, Dm210
12.5		10	20.2	32.23	10	0	0	0	150	Dt90, Dm60
		15	20.8	32.53	0	0	0	0	110	Dt70, Dm40
		20	19.3	32.27	0	0	0	0	110	Dt100, Dm10
		25	18.1	32.66	0	0	0	0	90	Dt80, Dro10
		30	15.2	32.54	0	0	0	0	60	Dt50, Dm10
		40	8.8	32.89	0	0	0	0	20	Dm20
知内	8/20	0	23.9	33.71	0	0	0	0	40	Dru10, Dro30
津軽海峡		10	18.9	33.98	0	0	0	0	10	Dm10
7.0		20	18.7	34.03	0	0	0	0	0	

**D.fortii=Dinophysis fortii* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾌｫﾙﾃｨ; *D.acum.=Dinophysis acuminata* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀ

Alexandrium ｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ =旧名 ﾌﾟﾛﾄｺﾞﾆｵﾗｯｸｽ, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*

Dn=*Dinophysis norvegica*ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾉﾙｳﾞｪｼﾞｶ, Dt= *Dinophysis tripos* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾄﾘﾎﾟｽ

Dm=*Dinophysis mitra* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾐﾄﾗ, Dc=*Dinophysis caudata*ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ｺｳﾀﾞｰﾀ

Di=*Dinophysis infundibula* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ｲﾝﾌｧﾝﾃﾞﾌﾞﾗ, Dru=*Dinophysis rudgei* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾙｼﾞｪｲ

Dro=*Dinophysis rotundata* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾛﾃｭﾝﾀﾞﾀ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾湾口部に出現していますが、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾湾口部、津軽海峡に出現しています。

8月中旬の津軽海峡の水温は、18.7～23.9℃です。
8月下旬の噴火湾湾口部の水温は、8.8～20.8℃です。

（担当：吉田秀嗣・金森　誠）

貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ速報（YC36）

（日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋）

2015年8月24日

中央水産試験場資源管理部

地　点 （透明度m）	月日	深度 （m）	水温 （℃）	塩分 （psu）	麻痺性原因種 At 細胞/L	下痢性原因種* Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
網走	8/19	0	19.2	33.30	0	0	10	0	
（10.0）		10	19.2	33.53	10	0	10	0	
		20	17.1	33.72	0	0	0	0	
		30	16.3	32.22	0	0	0	10	Dro
江差	8/17	0	24.2	33.96	0	0	0	30	Dro20, Dm10
（12.0）		10	24.0	33.94	0	0	0	10	Dro
		20	22.4	33.94	0	0	0	20	Dru10, Dm10
		30	20.9	34.01	0	0	0	10	Dru
浜益	8/18	0	23.9	31.98	0	0	0	50	Dro
（5.0）		10	23.5	32.81	0	0	0	0	
		20	20.2	33.84	0	0	0	0	
		30	17.7	34.03	0	0	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ･ﾀﾏﾚﾝｾ =旧名 ﾌﾟﾛﾄｺﾞﾆｵﾗｯｸｽ･ﾀﾏﾚﾝｼｽ

Aa = Alexandrium affineｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ･ｱﾌｨﾈ（無毒種）

Df=Dinophysis fortii ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾌｫﾙﾃｨ, Da=Dinophysis acuminata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀ

Dro=Dinophysis rotundata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾛﾂﾝﾀﾞｰﾀ, Di=Dinophysis infundibula ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｲﾝﾌｧﾝﾃﾞｨﾌﾞﾗ

Dm=Dinophysis mitra ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾐﾄﾗ, Dn=Dinophysis norvegica ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾉﾙｳﾞｪｼﾞｶ, Dru=Dinophysis rudgei ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾙｼﾞｪｲ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtが、網走でわずかに出現しています。

下痢性貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝは、ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾌｱｷｭﾐﾅｰﾀ、ﾛﾂﾝﾀﾞｰﾀ、ﾐﾄﾗ、ﾙｼﾞｪｲが出現しています。

（担当：海洋環境グループ　品田晃良、嶋田　宏、佐藤政俊）

貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ速報（YC35）

（日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋）

2015年8月19日

中央水産試験場資源管理部

地　点 （透明度m）	月日	深度 （m）	水温 （℃）	塩分 （psu）	麻痺性原因種 At 細胞/L	下痢性原因種* Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
紋別	8/10	0	20.2	33.43	0	0	0	0	
（17.0）		15	18.4	33.74	0	0	0	0	
		25	18.1	33.76	0	0	0	0	
		40	17.4	33.81	0	0	0	0	
頓別	8/10	0	19.5	33.67	0	0	0	0	
－		10	19.1	33.67	0	0	0	10	Dro
		20	19.0	33.71	0	0	0	0	
		30	18.8	33.70	0	0	0	0	
サロマ湖	8/17	0	21.2	32.94	0	0	0	0	
（8.0）		3	21.2	32.95	0	0	0	0	
		6	20.7	33.10	0	0	0	10	Dru
		9	19.7	33.26	0	30	0	0	
		12	18.7	33.13	0	70	0	0	
		15	17.1	32.22	0	50	20	0	
常呂	8/17	0	20.4	33.49	0	0	0	0	
（13.0）		10	19.6	33.66	0	0	0	10	Dru
		20	17.9	33.76	0	0	0	0	
		30	17.9	33.78	0	0	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ･ﾀﾏﾚﾝｾ =旧名 ﾌﾟﾛﾄｺﾞﾆｵﾗｯｸｽ･ﾀﾏﾚﾝｼｽ

Aa = Alexandrium affineｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ･ｱﾌｨﾈ（無毒種）

Df=Dinophysis fortii ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾌｫﾙﾃｨ，Da=Dinophysis acuminata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀ

Dro=Dinophysis rotundata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾛﾂﾝﾀﾞｰﾀ，Di=Dinophysis infundibula ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｲﾝﾌｧﾝﾃﾞｨﾌﾞﾗ

Dm=Dinophysis mitra ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾐﾄﾗ，Dn=Dinophysis norvegica ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾉﾙｳﾞｪｼﾞｶ，Dru=Dinophysis rudgei ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾙｼﾞｪｲ

コメント

麻痺性貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝAtは、出現していません。

下痢性貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝは、ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾌｫﾙﾃｨ、ｱｷｭﾐﾅｰﾀ、ﾛﾂﾝﾀﾞｰﾀおよびﾙｼﾞｪｲが出現しています。

（担当：海洋環境グループ　品田晃良、嶋田　宏、佐藤政俊）

貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ速報（HK26）

（函館水試担当地区）

2015年8月17日

函館水産試験場調査研究部

地　点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	麻痺性原因種 *At* 細胞/L	麻痺性原因種 *A*.o. 細胞/L	下痢性原因種* *D.fortii* 細胞/L	下痢性原因種* *D.acum.* 細胞/L	下痢性原因種* *D*属の他種 細胞/L	備考
静内	8/11	0	19.0	32.94	0	0	0	130	40	Dt30, Dro10
太平洋中部		10	14.5	32.65	20	0	100	110	110	Dt110
11.0		20	10.6	32.80	0	0	20	10	10	Dro10
		30	10.1	32.87	0	0	10	10	10	Dm10
森	8/12	0	23.2	31.61	0	0	0	0	0	
噴火湾西部		10	21.2	31.86	0	0	0	0	0	
14.5		20	14.6	32.26	0	0	0	0	20	Dt10, Di10
		30	10.5	32.56	0	0	0	0	0	

**D.fortii=Dinophysis fortii* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾌｫﾙﾃｨ; *D.acum.=Dinophysis acuminata* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀ

Alexandrium ｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ =旧名 ﾌﾟﾛﾄｺﾞﾆｵﾗｯｸｽ, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*

Dn=*Dinophysis norvegica*ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾉﾙｳﾞｪｼﾞｶ, Dt= *Dinophysis tripos* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾄﾘﾎﾟｽ

Dm=*Dinophysis mitra* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾐﾄﾗ, Dc=*Dinophysis caudata*ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ｺｳﾀﾞｰﾀ

Di=*Dinophysis infundibula* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ｲﾝﾌｧﾝﾃﾞﾌﾞﾗ, Dru=*Dinophysis rudgei* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾙｼﾞｪｲ

Dro=*Dinophysis rotundata* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾛﾃｭﾝﾀﾞﾀ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、太平洋中部に出現していますが、噴火湾西部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾西部に出現しています。

8月中旬の水温は、太平洋中部では10.1～19.0℃、噴火湾西部では10.5～23.2℃です。

（担当：吉田秀嗣・金森　誠）

貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ速報（YC34）

（日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋）

2015年8月12日

中央水産試験場資源管理部

地　点 （透明度m）	月日	深度 （m）	水温 （℃）	塩分 （psu）	麻痺性原因種 At 細胞/L	下痢性原因種* Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
猿払	8/4	0	20.9	33.37	0	0	0	0	
－		10	18.8	33.73	0	0	0	0	
		15	18.7	33.74	0	0	0	0	
		20	18.3	33.78	0	0	0	0	
能取湖	8/10	0	20.8	33.00	0	0	10	0	
（6.0）		10	18.3	33.30	0	140	110	50	Di20, Dru30

*At = Alexandrium tamarenseｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ・ﾀﾏﾚﾝｾ =旧名 ﾌﾟﾛﾄｺﾞﾆｵﾗｯｸｽ・ﾀﾏﾚﾝｼｽ

Aa = Alexandrium affineｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ・ｱﾌｨﾈ（無毒種）

Df=Dinophysis fortii ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ・ﾌｫﾙﾃｨ,　Da=Dinophysis acuminata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ・ｱｷｭﾐﾅｰﾀ

Dro=Dinophysis rotundata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ・ﾛﾂﾝﾀﾞｰﾀ,　Di=Dinophysis infundibula ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ・ｲﾝﾌｧﾝﾃﾞｨﾌﾞﾗ

Dm=Dinophysis mitra ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ・ﾐﾄﾗ, Dn=Dinophysis norvegica ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ・ﾉﾙｳﾞｪｼﾞｶ, Dru=Dinophysis rudgei ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾙｼﾞｪｲ

コメント

麻痺性貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝAtは、出現していません。

下痢性貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝは、能取湖でﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ・ﾌｫﾙﾃｨ、ｱｷｭﾐﾅｰﾀ、ｲﾝﾌｧﾝﾃﾞｨﾌﾞﾗとﾙｼﾞｪｲが出現しています。

（担当：海洋環境グループ　品田晃良、嶋田　宏、佐藤政俊）

貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ速報（HK25）

（函館水試担当地区）

2015年8月10日

函館水産試験場調査研究部

地　点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	麻痺性原因種 *At* 細胞/L	麻痺性原因種 *A*.o. 細胞/L	下痢性原因種* *D.fortii* 細胞/L	下痢性原因種* *D.acum.* 細胞/L	下痢性原因種* *D*属の他種 細胞/L	備考
虻田	8/3	0	22.8	31.46	0	0	0	0	0	
噴火湾東部		5	20.6	31.73	0	0	0	0	0	
9.5		10	18.1	31.96	0	0	0	20	60	Dt60
		15	16.2	32.32	0	0	0	10	50	Dt50
		20	12.7	32.20	0	0	0	0	0	
		25	9.3	32.51	0	0	10	0	20	Dn20

**D.fortii=Dinophysis fortii* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾌｫﾙﾃｨ; *D.acum.=Dinophysis acuminata* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀ

Alexandrium ｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ =旧名 ﾌﾟﾛﾄｺﾞﾆｵﾗｯｸｽ, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*

Dn=*Dinophysis norvegica*ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾉﾙｳﾞｪｼﾞｶ, Dt= *Dinophysis tripos* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾄﾘﾎﾟｽ

Dm=*Dinophysis mitra* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾐﾄﾗ, Dc=*Dinophysis caudata*ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ｺｳﾀﾞｰﾀ

Di=*Dinophysis infundibula* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ｲﾝﾌｧﾝﾃﾞﾌﾞﾗ, Dru=*Dinophysis rudgei* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾙｼﾞｪｲ

Dro=*Dinophysis rotundata* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾛﾃｭﾝﾀﾞﾀ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾東部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾東部に出現しています。

8月上旬の水温は、噴火湾東部では9.3～22.8℃です。

（担当：吉田秀嗣・金森　誠）

貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ速報（YC33）

（日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋）

2015年8月6日

中央水産試験場資源管理部

地　点 （透明度m）	月日	深度 （m）	水温 （℃）	塩分 （psu）	麻痺性原因種 At 細胞/L	下痢性原因種* Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
江差	7/29	0	22.8	32.93	0	0	0	0	
（19.0）		10	21.9	33.98	0	0	0	0	
		20	20.9	34.02	0	0	0	0	
		30	19.0	34.11	0	0	0	10	Dro
厚岸	8/3	0	19.6	31.47	10	0	220	0	
（3.5）		5	14.7	32.21	40	10	390	30	Dn
		10	12.2	32.40	30	20	260	10	Dn
		13	11.1	32.50	0	20	450	0	

*At = Alexandrium tamarenseｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ･ﾀﾏﾚﾝｾ =旧名 ﾌﾟﾛﾄｺﾞﾆｵﾗｯｸｽ･ﾀﾏﾚﾝｼｽ

Aa = Alexandrium affineｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ･ｱﾌｨﾈ（無毒種）

Df=Dinophysis fortii ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾌｫﾙﾃｨ,　Da=Dinophysis acuminata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀ

Dro=Dinophysis rotundata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾛﾂﾝﾀﾞｰﾀ,　Di=Dinophysis infundibula ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｲﾝﾌｧﾝﾃﾞｨﾌﾞﾗ

Dm=Dinophysis mitra ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾐﾄﾗ, Dn=Dinophysis norvegica ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾉﾙｳﾞｪｼﾞｶ, Dru=Dinophysis rudgei ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾙｼﾞｪｲ

コメント

8月上旬の厚岸海域で、麻痺性貝毒プランクトンAtが出現しています。

下痢性貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝは、厚岸でﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ・ｱｷｭﾐﾅｰﾀが多く出現しています。
その他、厚岸でﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ・ﾌｫﾙﾃｨとﾉﾙｳﾞｪｼﾞｶが、江差でﾛﾂﾝﾀﾞｰﾀが出現しています。

（担当：海洋環境グループ　品田晃良、嶋田　宏、佐藤政俊）

貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ速報（HK24）

（函館水試担当地区）

2015年7月31日

函館水産試験場調査研究部

地　点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	麻痺性原因種 *At* 細胞/L	麻痺性原因種 *A*.o. 細胞/L	下痢性原因種* *D.fortii* 細胞/L	下痢性原因種* *D.acum.* 細胞/L	下痢性原因種* *D*属の他種 細胞/L	備考
森	7/27	0	21.1	31.41	10	0	0	10	0	
噴火湾西部		10	16.1	32.14	0	0	0	10	0	
9.0		20	10.3	32.27	0	0	0	0	0	
		30	7.9	32.49	0	0	0	0	0	
鹿部	7/22	0	17.6	31.93	0	0	0	0	0	
噴火湾湾口部		5	16.0	32.73	0	0	0	0	0	
10.0		10	13.5	32.75	0	10	10	30	0	
		15	12.5	32.50	0	0	20	0	0	
		20	11.0	32.87	0	0	0	0	10	Dro10
		25	8.8	32.71	0	0	0	0	50	Dn30, Dro20
		30	7.2	32.61	0	10	0	0	20	Dn10, Dro10
		40	6.2	32.68	0	0	0	0	0	
知内	7/24	0	20.6	33.75	0	0	0	0	0	
津軽海峡		10	16.0	34.11	0	0	0	0	0	
11.0		20	15.0	34.15	0	0	0	0	0	

**D.fortii=Dinophysis fortii* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾌｫﾙﾃｨ; *D.acum.=Dinophysis acuminata* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀ

Alexandrium ｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ =旧名 ﾌﾟﾛﾄｺﾞﾆｵﾗｯｸｽ, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*

Dn=*Dinophysis norvegica*ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾉﾙｳﾞｪｼﾞｶ, Dt= *Dinophysis tripos* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾄﾘﾎﾟｽ

Dm=*Dinophysis mitra* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾐﾄﾗ, Dc=*Dinophysis caudata*ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ｺｳﾀﾞｰﾀ

Di=*Dinophysis infundibula* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ｲﾝﾌｧﾝﾃﾞﾌﾞﾗ, Dru=*Dinophysis rudgei* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾙｼﾞｪｲ

Dro=*Dinophysis rotundata* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾛﾃｭﾝﾀﾞﾀ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾西部、噴火湾湾口部に出現していますが、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾西部、噴火湾湾口部に出現していますが、津軽海峡には出現していません。

7月下旬の水温は、噴火湾西部では7.9～21.1℃、噴火湾湾口部では6.2～17.6℃、津軽海峡では15.0～20.6℃です。

（担当：吉田秀嗣・金森　誠）

貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ速報（YC32）

（日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋）

2015年7月30日

中央水産試験場資源管理部

地　点 （透明度m）	月日	深度 （m）	水温 （℃）	塩分 （psu）	麻痺性原因種 At 細胞/L	下痢性原因種* Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
浜益	7/21	0	19.7	33.28	0	0	0	0	
（14.0）		10	17.9	33.76	0	0	0	0	
		20	17.5	33.93	0	0	0	0	
		30	14.8	33.82	0	0	0	0	
猿払	7/22	0	17.8	33.63	0	0	0	0	
－		10	16.3	33.76	0	0	0	0	
		15	16.0	33.76	0	0	0	0	
		20	16.0	33.76	0	0	0	0	
標津	7/27	0	14.9	32.55	0	0	20	0	
（8.0）		5	14.2	32.69	0	10	0	0	
		10	12.8	32.87	10	0	10	0	
		15	11.6	32.96	0	0	0	0	
増毛	7/24	0	20.8	32.82	0	0	0	0	
（13.0）		10	18.1	33.71	0	0	0	10	Di
		20	17.6	33.92	0	0	0	10	Dru
		30	17.3	33.95	0	0	0	0	
能取湖	7/29	0	21.0	33.20	0	0	0	0	
（7.1）		10	16.0	33.38	0	250	380	0	

*At = Alexandrium tamarenseｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ･ﾀﾏﾚﾝｾ =旧名 ﾌﾟﾛﾄｺﾞﾆｵﾗｯｸｽ･ﾀﾏﾚﾝｼｽ

Aa = Alexandrium affineｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ･ｱﾌｨﾈ（無毒種）

Df=Dinophysis fortii ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾌｫﾙﾃｨ,　Da=Dinophysis acuminata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀ

Dro=Dinophysis rotundata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾛﾂﾝﾀﾞｰﾀ,　Di=Dinophysis infundibula ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｲﾝﾌｧﾝﾃﾞｨﾌﾞﾗ

Dm=Dinophysis mitra ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾐﾄﾗ, Dn=Dinophysis norvegica ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾉﾙｳﾞｪｼﾞｶ, Dru=Dinophysis rudgei ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾙｼﾞｪｲ

コメント

麻痺性貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝAtは、標津海域でわずかに出現しています。

下痢性貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝは、標津と能取湖でﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾌｫﾙﾃｨとｱｷｭﾐﾅｰﾀが出現しています。
また、増毛ではﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｲﾝﾌｧﾝﾃﾞｨﾌﾞﾗとﾙｼﾞｪｲが出現しています。

（担当：海洋環境グループ　品田晃良、嶋田　宏、佐藤政俊）

貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ速報（HK23）

（函館水試担当地区）

2015年7月24日

函館水産試験場調査研究部

地　点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	麻痺性原因種 *At* 細胞/L	麻痺性原因種 *A*.o. 細胞/L	下痢性原因種* *D.fortii* 細胞/L	下痢性原因種* *D.acum.* 細胞/L	下痢性原因種* *D*属の他種 細胞/L	備考
静内	7/21	0	18.0	32.61	0	0	0	0	70	Dt70
太平洋中部		10	15.1	32.66	0	0	0	50	140	Dt140
10.0		20	11.2	32.82	0	0	10	10	90	Dt40, Dn30, Dro20
		30	－	－	0	0	10	10	20	Dn20
虻田	7/21	0	19.8	30.97	0	0	0	0	0	
噴火湾東部		5	18.0	31.62	0	0	0	0	10	Dro10
11.5		10	14.5	31.94	0	0	10	0	10	Di10
		15	11.7	32.24	10	0	20	50	20	Dn20
		20	9.3	32.37	0	0	30	30	0	
		25	7.0	32.50	0	0	0	0	0	
八雲	7/21	0	20.0	31.32	0	0	0	0	0	
噴火湾西部		5	18.4	31.62	0	0	0	10	0	
13.0		10	13.5	32.03	0	0	0	0	0	
		15	11.5	32.16	0	0	0	0	0	
		20	9.6	32.32	0	0	0	0	0	
		25	8.7	32.38	0	0	0	0	0	
		30	8.3	32.46	0	0	0	0	0	

＊*D.fortii*=*Dinophysis fortii* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾌｫﾙﾃｨ; *D.acum*.=*Dinophysis acuminata* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀ

Alexandrium ｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ =旧名 ﾌﾟﾛﾄｺﾞﾆｵﾗｯｸｽ, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*

Dn=*Dinophysis norvegica*ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾉﾙｳﾞｪｼﾞｶ, Dt= *Dinophysis tripos* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾄﾘﾎﾟｽ

Dm=*Dinophysis mitra* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾐﾄﾗ, Dc=*Dinophysis caudata*ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ　ｺｳﾀﾞｰﾀ

Di=*Dinophysis infundibula* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ｲﾝﾌｧﾝﾃﾞﾌﾞﾗ, Dru=*Dinophysis rudgei* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾙｼﾞｪｲ

Dro=*Dinophysis rotundata* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾛﾃｭﾝﾀﾞﾀ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾東部に出現していますが、太平洋中部、噴火湾西部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾西部に出現しています。

7月下旬の水温は、太平洋中部では11.2～18.0℃、噴火湾東部では7.0～19.8℃、噴火湾西部では8.3～20.0℃です。

（担当：吉田秀嗣・金森　誠）

貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ速報（YC31）

（日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋）

2015年7月24日

中央水産試験場資源管理部

地　点 （透明度m）	月日	深度 （m）	水温 （℃）	塩分 （psu）	麻痺性原因種 At 細胞/L	下痢性原因種* Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
厚岸	7/23	0	17.4	31.20	640	0	940	0	
(9.0)		5	12.5	32.32	230	0	670	0	
		10	10.7	32.48	30	0	660	30	Dn
		13	9.7	32.48	40	0	690	10	Dn

*At = Alexandrium tamarenseｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ･ﾀﾏﾚﾝｾ =旧名 ﾌﾟﾛﾄｺﾞﾆｵﾗｯｸｽ･ﾀﾏﾚﾝｼｽ

Aa = Alexandrium affineｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ･ｱﾌｨﾈ（無毒種）

Df=Dinophysis fortii ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾌｫﾙﾃｨ, Da=Dinophysis acuminata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀ

Dro=Dinophysis rotundata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾛﾂﾝﾀﾞｰﾀ, Di=Dinophysis infundibula ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｲﾝﾌｧﾝﾃﾞｨﾌﾞﾗ

Dm=Dinophysis mitra ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾐﾄﾗ, Dn=Dinophysis norvegica ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾉﾙｳﾞｪｼﾞｶ, Dru=Dinophysis rudgei ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾙｼﾞｪｲ

コメント

7月下旬の厚岸海域で、麻痺性貝毒ブランクトンAtが多く出現しています。
太平洋東部海域では、麻痺性毒値の上昇に警戒してください。

下痢性貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝは、厚岸でﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ・ｱｷｭﾐﾅｰﾀが多く出現しています。

（担当：海洋環境グループ　品田晃良、嶋田　宏、佐藤政俊）

貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ速報（YC30）

（日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋）

2015年7月23日

中央水産試験場資源管理部

地　点 （透明度m）	月日	深度 （m）	水温 （℃）	塩分 （psu）	麻痺性原因種 At 細胞/L	下痢性原因種* Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
頓別	7/13	0	14.9	33.64	0	0	0	0	
		10	14.6	33.68	0	0	0	0	
		20	14.4	33.73	0	0	0	0	
		30	14.4	33.72	0	0	0	0	
サロマ湖	7/21	0	20.0	33.21	0	0	0	0	
(6.5)		3	19.6	32.70	10	0	0	0	
		6	16.0	33.21	0	10	0	0	
		9	15.0	33.19	0	20	40	0	
		12	14.5	33.19	0	10	10	0	
		15	13.2	33.17	0	130	10	0	
常呂	7/21	0	19.0	33.44	0	0	0	0	
(13.5)		10	15.6	33.54	0	0	0	0	
		20	15.3	33.58	0	0	0	0	
		30	15.2	33.60	0	0	0	0	
能取湖	7/18	0	18.7	33.11	0	0	0	0	
(6.8)		10	15.1	33.37	0	370	70	0	
網走	7/21	0	17.7	32.88	10	0	0	0	
(10.0)		10	15.1	33.14	0	0	10	10	Dro
		20	14.2	33.46	0	10	0	10	Di
		30	13.9	33.61	0	20	0	0	
江差	7/17	0	18.8	34.06	0	0	0	0	
(11.0)		10	16.6	33.98	0	0	0	0	
		20	14.6	34.12	0	0	0	0	
		30	8.9	34.15	0	0	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ･ﾀﾏﾚﾝｾ =旧名 ﾌﾟﾛﾄｺﾞﾆｵﾗｯｸｽ･ﾀﾏﾚﾝｼｽ

Aa = Alexandrium affineｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ･ｱﾌｨﾈ（無毒種）

Df=Dinophysis fortii ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾌｫﾙﾃｨ,　Da=Dinophysis acuminata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀ

Dro=Dinophysis rotundata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾛﾂﾝﾀﾞｰﾀ,　Di=Dinophysis infundibula ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｲﾝﾌｧﾝﾃﾞｨﾌﾞﾗ

Dm=Dinophysis mitra ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾐﾄﾗ, Dn=Dinophysis norvegica ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾉﾙｳﾞｪｼﾞｶ, Dru=Dinophysis rudgei ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾙｼﾞｪｲ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは、サロマ湖と網走でわずかに出現しています。

下痢性貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝは、サロマ湖と能取湖でﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾌｫﾙﾃｨが多く出現しています。
そのほか、ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀ、ﾛﾂﾝﾀﾞｰﾀおよびｲﾝﾌｧﾝﾃﾞｨﾌﾞﾗが出現している海域があります。

（担当：海洋環境グループ　品田晃良、嶋田　宏、佐藤政俊）

貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ速報（YC29）

（日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋）

2015年7月21日

中央水産試験場資源管理部

地　点 （透明度m）	月日	深度 （m）	水温 （℃）	塩分 （psu）	麻痺性原因種 At 細胞/L	下痢性原因種* Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
紋別	7/13	0	13.4	33.49	10	0	0	0
（11.0）		15	13.6	33.63	40	0	0	0
		25	13.5	33.62	40	0	0	0
		40	13.1	33.58	10	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ･ﾀﾏﾚﾝｾ =旧名 ﾌﾟﾛﾄｺﾞﾆｵﾗｯｸｽ･ﾀﾏﾚﾝｼｽ

Aa = Alexandrium affineｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ･ｱﾌｨﾈ（無毒種）

Df=Dinophysis fortii ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾌｫﾙﾃｨ,　Da=Dinophysis acuminata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀ

Dro=Dinophysis rotundata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾛﾂﾝﾀﾞｰﾀ,　Di=Dinophysis infundibula ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｲﾝﾌｧﾝﾃﾞｨﾌﾞﾗ

Dm=Dinophysis mitra ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾐﾄﾗ, Dn=Dinophysis norvegica ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾉﾙｳﾞｪｼﾞｶ, Dru=Dinophysis rudgei ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾙｼﾞｪｲ

コメント

麻痺性貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝAtが出現しています。

下痢性貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝは、出現していません。

（担当：海洋環境グループ　品田晃良、嶋田　宏、佐藤政俊）

貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ速報（YC28）

（日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋）

2015年7月17日

中央水産試験場資源管理部

地　点 （透明度m）	月日	深度 （m）	水温 （℃）	塩分 （psu）	麻痺性原因種 At 細胞/L	下痢性原因種* Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
猿払	7/8	0	14.1	33.65	0	0	0	10	Di
－		10	14.1	33.67	0	0	0	0	
		15	14.1	33.66	0	20	0	0	
		20	14.0	33.67	0	50	20	0	
増毛	7/10	0	ND	ND	0	0	0	0	
(11.0)		10	ND	ND	0	0	0	0	
		20	ND	ND	0	10	0	10	Di
		30	ND	ND	0	10	0	0	
標津	7/16	0	13.1	32.38	10	0	20	0	
(8.0)		5	12.9	32.40	10	0	0	0	
		10	11.3	32.67	0	0	0	0	
		15	9.5	33.03	0	0	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ･ﾀﾏﾚﾝｾ =旧名 ﾌﾟﾛﾄｺﾞﾆｵﾗｯｸｽ･ﾀﾏﾚﾝｼｽ

Aa = Alexandrium affineｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ･ｱﾌｨﾈ（無毒種）

Df=Dinophysis fortii ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾌｫﾙﾃｨ, Da=Dinophysis acuminata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀ

Dro=Dinophysis rotundata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾛﾂﾝﾀﾞｰﾀ, Di=Dinophysis infundibula ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｲﾝﾌｧﾝﾃﾞｨﾌﾞﾗ

Dm=Dinophysis mitra ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾐﾄﾗ, Dn=Dinophysis norvegica ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾉﾙｳﾞｪｼﾞｶ, Dru=Dinophysis rudgei ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾙｼﾞｪｲ

コメント

麻痺性貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝAtは、標津海域でわずかに出現しています。

下痢性貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝは、ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾌｫﾙﾃｨ、ｱｷｭﾐﾅｰﾀおよびｲﾝﾌｧﾝﾃﾞｨﾌﾞﾗが出現しています。

（担当：海洋環境グループ　品田晃良、嶋田　宏、佐藤政俊）

貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ速報（HK22）

（函館水試担当地区）

2015年7月15日

函館水産試験場調査研究部

地　点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	麻痺性原因種 *At* 細胞/L	麻痺性原因種 *A*.o. 細胞/L	下痢性原因種* *D.fortii* 細胞/L	下痢性原因種* *D.acum.* 細胞/L	下痢性原因種* *D*属の他種 細胞/L	備考
森	7/10	0	17.2	31.80	80	0	0	60	30	Di20, Dru10
噴火湾西部		10	14.6	31.86	30	0	10	70	50	Di30, Dru20
11.0		20	12.1	32.13	10	0	0	140	80	Dn60, Dro20
		30	7.3	32.31	0	0	0	20	50	Dn50

＊*D.fortii*=*Dinophysis fortii* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾌｫﾙﾃｨ; *D.acum*.=*Dinophysis acuminata* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀ

Alexandrium ｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ =旧名 ﾌﾟﾛﾄｺﾞﾆｵﾗｯｸｽ, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*

Dn=*Dinophysis norvegica*ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾉﾙｳﾞｪｼﾞｶ, Dt= *Dinophysis tripos* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾄﾘﾎﾟｽ

Dm=*Dinophysis mitra* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾐﾄﾗ, Dc=*Dinophysis caudata*ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ｺｳﾀﾞｰﾀ

Di=*Dinophysis infundibula* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ｲﾝﾌｧﾝﾃﾞﾌﾞﾗ, Dru=*Dinophysis rudgei* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾙｼﾞｪｲ

Dro=*Dinophysis rotundata* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾛﾃｭﾝﾀﾞﾀ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾西部に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾西部に出現しています。

7月上旬の水温は、噴火湾西部では7.3～17.2℃です。

（担当：吉田秀嗣・金森　誠）

貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ速報（YC27）

（日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋）

2015年7月10日

中央水産試験場資源管理部

地　点 （透明度m）	月日	深度 （m）	水温 （℃）	塩分 （psu）	麻痺性原因種 At 細胞/L	下痢性原因種* Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
標津	7/6	0	13.8	31.94	10	0	310	10	Dru
（9.0）		5	11.8	32.14	0	0	20	0	
		10	9.2	32.66	0	0	40	0	
		15	8.3	32.78	10	0	130	0	
サロマ湖	7/6	0	15.3	32.87	0	0	10	0	
（6.0）		3	15.2	32.85	0	0	10	0	
		6	13.1	33.15	0	30	0	0	
		9	12.3	33.09	0	30	0	0	
		12	11.6	33.55	0	20	10	0	
		15	11.6	33.56	0	0	0	0	
常呂	7/6	0	13.0	33.84	0	20	0	0	
（11.0）		10	11.7	33.68	0	0	0	0	
		20	11.4	33.69	0	10	20	0	
		30	11.4	33.70	0	0	0	10	Dru

*At = Alexandrium tamarenseｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ･ﾀﾏﾚﾝｾ =旧名 ﾌﾟﾛﾄｺﾞﾆｵﾗｯｸｽ･ﾀﾏﾚﾝｼｽ

Aa = Alexandrium affineｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ･ｱﾌｨﾈ（無毒種）

Df=Dinophysis fortii ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾌｫﾙﾃｨ,　Da=Dinophysis acuminata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀ

Dro=Dinophysis rotundata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾛﾂﾝﾀﾞｰﾀ,　Di=Dinophysis infundibula ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｲﾝﾌｧﾝﾃﾞｨﾌﾞﾗ

Dm=Dinophysis mitra ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾐﾄﾗ, Dn=Dinophysis norvegica ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾉﾙｳﾞｪｼﾞｶ, Dru=Dinophysis rudgei ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾙｼﾞｪｲ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは標津でわずかに出現しています。

下痢性貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝは、標津でディノフィシス・アキュミナータが多く出現しています。

（担当：海洋環境グループ　品田晃良、嶋田　宏、佐藤政俊）

貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ速報（HK21）

（函館水試担当地区）

2015年7月8日

函館水産試験場調査研究部

地　点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	麻痺性原因種 *At* 細胞/L	麻痺性原因種 *A*.o. 細胞/L	下痢性原因種* *D.fortii* 細胞/L	下痢性原因種* *D.acum.* 細胞/L	下痢性原因種* *D*属の他種 細胞/L	備考
静内	7/6	0	14.0	32.77	0	0	0	40	0	
太平洋中部		10	12.0	32.94	0	0	0	10	10	Dt10
10.0		20	9.7	32.73	0	0	0	20	0	
		30	10.3	33.21	0	0	0	0	0	
虻田	7/6	0	17.8	30.91	0	0	0	50	0	
噴火湾東部		5	15.8	31.69	0	0	0	10	0	
10.0		10	13.6	31.91	0	0	0	20	0	
		15	11.1	32.08	10	0	10	40	0	
		20	9.6	32.33	20	0	0	30	0	
		25	9.2	32.42	0	0	0	10	0	

＊*D.fortii*=*Dinophysis fortii* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾌｫﾙﾃｨ; *D.acum*.=*Dinophysis acuminata* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀ

Alexandrium ｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ =旧名 ﾌﾟﾛﾄｺﾞﾆｵﾗｯｸｽ, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*

Dn=*Dinophysis norvegica*ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾉﾙｳﾞｪｼﾞｶ, Dt= *Dinophysis tripos* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾄﾘﾎﾟｽ

Dm=*Dinophysis mitra* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾐﾄﾗ, Dc=*Dinophysis caudata*ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ｺｳﾀﾞｰﾀ

Di=*Dinophysis infundibula* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ｲﾝﾌｧﾝﾃﾞﾌﾞﾗ, Dru=*Dinophysis rudgei* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾙｼﾞｪｲ

Dro=*Dinophysis rotundata* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾛﾃｭﾝﾀﾞﾀ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾東部に出現していますが、太平洋中部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾東部に出現しています。

7月上旬の水温は、太平洋中部では9.7～14.0℃、噴火湾東部では9.2～17.8℃です。

（担当：吉田秀嗣・金森　誠）

貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ速報（YC26）

（日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋）

2015年7月6日

中央水産試験場資源管理部

地　点 （透明度m）	月日	深度 （m）	水温 （℃）	塩分 （psu）	麻痺性原因種 At 細胞/L	下痢性原因種* Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
厚岸	7/2	0	12.1	31.61	0	0	90	30	Dn
（4.0）		5	11.3	31.75	0	0	970	210	Dn190, Dru20
		10	8.4	32.19	0	10	200	0	
		13	7.6	32.34	0	0	20	0	

*At = Alexandrium tamarenseｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ･ﾀﾏﾚﾝｾ =旧名 ﾌﾟﾛﾄｺﾞﾆｵﾗｯｸｽ･ﾀﾏﾚﾝｼｽ

Aa = Alexandrium affineｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ･ｱﾌｨﾈ（無毒種）

Df=Dinophysis fortii ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾌｫﾙﾃｨ,　Da=Dinophysis acuminata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀ

Dro=Dinophysis rotundata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾛﾂﾝﾀﾞｰﾀ,　Di=Dinophysis infundibula ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｲﾝﾌｧﾝﾃﾞｨﾌﾞﾗ

Dm=Dinophysis mitra ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾐﾄﾗ, Dn=Dinophysis norvegica ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾉﾙｳﾞｪｼﾞｶ, Dru=Dinophysis rudgei ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾙｼﾞｪｲ

コメント

麻痺性貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝAtは出現していません。

下痢性貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝは、厚岸でﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀとﾉﾙｳﾞｪｼﾞｶが多く出現しています。

（担当：海洋環境グループ　品田晃良、嶋田　宏、佐藤政俊）

貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ速報（YC25）

（日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋）

2015年6月18日

中央水産試験場資源管理部

地　点 （透明度m）	月日	深度 （m）	水温 （℃）	塩分 （psu）	麻痺性原因種 At 細胞/L	下痢性原因種* Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
増毛	6/22	0	15.9	33.02	0	0	0	0	
（11.0）		10	13.9	33.45	0	0	0	0	
		20	13.7	33.91	0	0	0	10	Di
		30	12.3	33.96	0	0	0	0	
江差	6/23	0	18.0	34.20	0	0	0	0	
（16.0）		10	17.8	34.18	0	0	0	10	Dro
		20	15.1	34.16	0	0	0	0	
		30	11.4	34.21	0	0	0	10	Dro
猿払	6/24	0	12.1	33.73	0	0	0	0	
－		10	11.7	33.78	0	0	0	0	
		15	11.4	33.83	0	0	0	0	
		20	11.4	33.83	0	20	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ･ﾀﾏﾚﾝｾ =旧名 ﾌﾟﾛﾄｺﾞﾆｵﾗｯｸｽ･ﾀﾏﾚﾝｼｽ

Aa = Alexandrium affineｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ･ｱﾌｨﾈ（無毒種）

Df=Dinophysis fortii ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾌｫﾙﾃｨ,　Da=Dinophysis acuminata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀ

Dro=Dinophysis rotundata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾛﾂﾝﾀﾞｰﾀ,　Di=Dinophysis infundibula ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｲﾝﾌｧﾝﾃﾞｨﾌﾞﾗ

Dm=Dinophysis mitra ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾐﾄﾗ, Dn=Dinophysis norvegica ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾉﾙｳﾞｪｼﾞｶ, Dru=Dinophysis rudgei ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾙｼﾞｪｲ

コメント

麻痺性貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝAtの出現はありません。

下痢性貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝは、増毛でﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｲﾝﾌｧﾝﾃﾞｨﾌﾞﾗ、江差でﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾛﾂﾝﾀﾞｰﾀ、
猿払でﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾌｫﾙﾃｨがわずかに出現しています。

（担当：海洋環境グループ　品田晃良、嶋田　宏、佐藤政俊）

貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ速報（HK2O）

（函館水試担当地区）

2015年6月30日

函館水産試験場調査研究部

地　点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	麻痺性原因種 *At* 細胞/L	麻痺性原因種 *A*.o. 細胞/L	下痢性原因種* *D.fortii* 細胞/L	下痢性原因種* *D.acum.* 細胞/L	下痢性原因種* *D*属の他種 細胞/L	備考
森	6/25	0	15.6	31.80	10	0	10	180	10	Dru10
噴火湾西部		10	12.4	32.01	10	0	0	90	10	Dn10
8.0		20	8.8	31.88	10	0	0	150	20	Dn20
		30	4.5	32.48	10	0	0	20	0	
鹿部	6/24	0	16.3	31.83	0	0	0	130	0	
噴火湾湾口部		5	15.8	31.85	0	0	0	90	0	
10.0		10	14.3	31.94	0	0	0	130	20	Dn10, Di10
		15	11.8	32.14	10	0	0	70	20	Dn20
		20	10.7	32.38	0	0	0	50	10	Dru10
		25	9.6	32.43	0	0	0	30	20	Dn10, Dru10
		30	7.6	32.38	0	0	0	0	10	Dn10
		40	5.7	32.60	0	0	0	0	0	

**D.fortii=Dinophysis fortii* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾌｫﾙﾃｨ; *D.acum.=Dinophysis acuminata* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀ

Alexandrium ｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ =旧名 ﾌﾟﾛﾄｺﾞﾆｵﾗｯｸｽ, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*

Dn=*Dinophysis norvegica*ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾉﾙｳﾞｪｼﾞｶ, Dt= *Dinophysis tripos* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾄﾘﾎﾟｽ

Dm=*Dinophysis mitra* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾐﾄﾗ, Dc=*Dinophysis caudata*ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ｺｳﾀﾞｰﾀ

Di=*Dinophysis infundibula* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ｲﾝﾌｧﾝﾃﾞﾌﾞﾗ, Dru=*Dinophysis rudgei* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾙｼﾞｪｲ

Dro=*Dinophysis rotundata* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾛﾃｭﾝﾀﾞﾀ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾西部、噴火湾湾口部に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾西部、噴火湾湾口部に出現しています。

6月下旬の水温は、噴火湾西部では4.5～15.6℃、噴火湾湾口部では5.7～16.3℃です。

（担当：吉田秀嗣・金森　誠）

貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ速報（YC24）

（日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋）

2015年6月26日

中央水産試験場資源管理部

地　点 （透明度m）	月日	深度 （m）	水温 （℃）	塩分 （psu）	麻痺性原因種 At 細胞/L	下痢性原因種* Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
浜益	6/18	0	16.1	31.87	0	0	0	0	
（4.0）		10	15.7	32.11	0	0	0	10	Di
		20	13.4	33.34	0	10	0	0	
		30	11.7	33.90	0	0	0	0	
サロマ湖	6/22	0	16.8	32.60	0	10	0	0	
（7.0）		3	16.6	31.90	0	0	10	10	Di
		6	13.3	32.65	0	70	0	0	
		9	12.0	32.78	0	70	0	0	
		12	11.2	32.94	0	30	0	0	
		15	10.9	33.09	0	10	0	0	
常呂	6/22	0	13.8	33.33	0	0	0	10	Di
（13.0）		10	12.0	33.64	0	10	0	10	Di
		20	11.6	33.65	0	0	0	20	Di
		30	11.4	33.69	0	0	0	0	
能取湖	6/22	0	15.6	32.67	0	0	20	0	
（6.8）		10	12.4	32.89	0	10	0	0	
網走	6/22	0	12.1	31.97	0	0	0	0	
		10	9.5	33.00	0	0	0	0	
		20	9.8	33.45	0	0	10	0	
		30	8.8	33.27	0	0	0	0	
厚岸	6/24	0	14.2	30.46	0	0	1,240	400	Dn390, Dro10
（3.0）		5	11.4	31.71	0	0	610	440	Dn430, Dro10
		10	8.8	32.09	0	0	120	190	Dn
		13	8.0	32.15	0	0	30	20	Dn

*At = Alexandrium tamarenseｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ･ﾀﾏﾚﾝｾ =旧名 ﾌﾟﾛﾄｺﾞﾆｵﾗｯｸｽ･ﾀﾏﾚﾝｼｽ

Aa = Alexandrium affineｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ･ｱﾌｨﾈ（無毒種）

Df=Dinophysis fortii ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾌｫﾙﾃｨ,　Da=Dinophysis acuminata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀ

Dro=Dinophysis rotundata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾛﾂﾝﾀﾞｰﾀ,　Di=Dinophysis infundibula ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｲﾝﾌｧﾝﾃﾞｨﾌﾞﾗ

Dm=Dinophysis mitra ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾐﾄﾗ, Dn=Dinophysis norvegica ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾉﾙｳﾞｪｼﾞｶ, Dru=Dinophysis rudgei ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾙｼﾞｪｲ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝは、サロマ湖でﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾌｫﾙﾃｨがやや多く、
厚岸でﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀとﾉﾙｳﾞｪｼﾞｶが多く出現しています。

（担当：海洋環境グループ　品田晃良、嶋田　宏、佐藤政俊）

貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ速報（HK１９）

（函館水試担当地区）

2015年6月24日

函館水産試験場調査研究部

地　点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	麻痺性原因種 *At* 細胞/L	麻痺性原因種 *A*.o. 細胞/L	下痢性原因種* *D.fortii* 細胞/L	下痢性原因種* *D.acum.* 細胞/L	下痢性原因種* *D*属の他種 細胞/L		備考
静内	6/22	0	12.5	32.08	0	0	0	180	70	Dn70	
太平洋中部		10	8.2	32.31	0	0	0	20	70	Dn70	
8.0		20	6.9	32.38	0	0	0	0	20	Dn20	
		30	6.1	32.46	0	0	0	0	10	Dn10	
知内	6/23	0	17.3	33.80	0	0	0	0	0		
津軽海峡		10	13.4	33.89	0	0	0	0	0		
9.0		20	13.1	33.98	0	0	0	0	0		

**D.fortii=Dinophysis fortii* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾌｫﾙﾃｨ; *D.acum.=Dinophysis acuminata* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀ

Alexandrium ｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ =旧名 ﾌﾟﾛﾄｺﾞﾆｵﾗｯｸｽ, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*

Dn=*Dinophysis norvegica*ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾉﾙｳﾞｪｼﾞｶ, Dt= *Dinophysis tripos* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾄﾘﾎﾟｽ

Dm=*Dinophysis mitra* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾐﾄﾗ, Dc=*Dinophysis caudata*ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ　ｺｳﾀﾞｰﾀ

Di=*Dinophysis infundibula* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ｲﾝﾌｧﾝﾃﾞﾌﾞﾗ, Dru=*Dinophysis rudgei* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾙｼﾞｪｲ

Dro=*Dinophysis rotundata* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾛﾃｭﾝﾀﾞﾀ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、太平洋中部、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、太平洋中部に出現していますが、津軽海峡には出現していません。

6月下旬の水温は、太平洋中部では6.1～12.5℃、津軽海峡では13.1～17.3℃です。

（担当：吉田秀嗣・金森　誠）

貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ速報（YC23）

（日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋）

2015年6月22日

中央水産試験場資源管理部

地　点 （透明度m）	月日	深度 （m）	水温 （℃）	塩分 （psu）	麻痺性原因種 At 細胞/L	下痢性原因種* Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
紋別	6/15	0	－	－	10	20	30	0
（12.0）		15	－	－	0	0	0	0
		25	－	－	0	0	0	0
		40	－	－	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ･ﾀﾏﾚﾝｾ =旧名 ﾌﾟﾛﾄｺﾞﾆｵﾗｯｸｽ･ﾀﾏﾚﾝｼｽ

Aa = Alexandrium affineｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ･ｱﾌｨﾈ（無毒種）

Df=Dinophysis fortii ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾌｫﾙﾃｨ,　Da=Dinophysis acuminata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀ

Dro=Dinophysis rotundata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾛﾂﾝﾀﾞｰﾀ,　Di=Dinophysis infundibula ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｲﾝﾌｧﾝﾃﾞｨﾌﾞﾗ

Dm=Dinophysis mitra ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾐﾄﾗ, Dn=Dinophysis norvegica ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾉﾙｳﾞｪｼﾞｶ, Dru=Dinophysis rudgei ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾙｼﾞｪｲ

コメント

麻痺性貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝAtがわずかに出現しています。

下痢性貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝは、ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾌｫﾙﾃｨとｱｷｭﾐﾅｰﾀが出現しています。

（担当：海洋環境グループ　品田晃良、嶋田　宏、佐藤政俊）

貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ速報（YC22）

（日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋）

2015年6月18日

中央水産試験場資源管理部

地　点 （透明度m）	月日	深度 （m）	水温 （℃）	塩分 （psu）	麻痺性原因種 At 細胞/L	下痢性原因種* Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
猿払	6/11	0	10.8	33.71	0	0	0	0	
－		10	10.8	33.74	0	0	0	0	
		15	10.8	33.74	0	0	0	0	
		20	10.8	33.74	0	0	0	0	
江差	6/11	0	14.6	33.60	0	0	0	0	
(16.0)		10	14.0	34.04	0	0	0	0	
		20	13.7	34.05	0	0	0	10	Dro
		30	13.3	34.07	0	0	0	0	
増毛	6/11	0	12.6	33.59	0	0	0	0	
(10.0)		10	12.3	33.90	0	0	0	0	
		20	12.2	33.95	0	0	0	0	
		30	11.6	33.88	0	0	0	10	Dru
頓別	6/11	0	10.8	33.72	0	20	0	0	
－		10	10.7	33.77	0	20	0	0	
		20	10.7	33.76	0	0	0	0	
		30	10.7	33.77	0	20	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ･ﾀﾏﾚﾝｾ =旧名 ﾌﾟﾛﾄｺﾞﾆｵﾗｯｸｽ･ﾀﾏﾚﾝｼｽ

Aa = Alexandrium affineｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ･ｱﾌｨﾈ（無毒種）

Df=Dinophysis fortii ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾌｫﾙﾃｨ，Da=Dinophysis acuminata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀ

Dro=Dinophysis rotundata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾛﾂﾝﾀﾞｰﾀ，Di=Dinophysis infundibula ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｲﾝﾌｧﾝﾃﾞｨﾌﾞﾗ

Dm=Dinophysis mitra ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾐﾄﾗ，Dn=Dinophysis norvegica ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾉﾙｳﾞｪｼﾞｶ，Dru=Dinophysis rudgei ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾙｼﾞｪｲ

コメント

麻痺性貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝAtの出現はありません。

下痢性貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝは、江差でﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾛﾂﾝﾀﾞｰﾀ、増毛でﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾙｼﾞｪｲ、
頓別でﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾌｫﾙﾃｨがわずかに出現しています。

（担当：海洋環境グループ　品田晃良、嶋田　宏、佐藤政俊）

貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ速報（HK18）

（函館水試担当地区）

2015年6月18日

函館水産試験場調査研究部

地　点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	麻痺性原因種 *At* 細胞/L	麻痺性原因種 *A*.o. 細胞/L	下痢性原因種* *D.fortii* 細胞/L	下痢性原因種* *D.acum.* 細胞/L	下痢性原因種* *D*属の他種 細胞/L	備考
虻田	6/16	0	14.7	31.39	0	0	0	0	0	
噴火湾東部		5	13.0	31.76	0	0	0	0	0	
13.5		10	11.5	31.83	50	0	0	80	0	
		15	10.3	31.93	80	0	0	30	0	
		20	7.4	32.03	70	0	0	140	0	
		25	6.0	32.40	170	0	0	190	20	Dn20
八雲	6/15	0	14.9	31.31	10	0	0	40	0	
噴火湾西部		5	12.5	31.58	40	0	0	170	0	
6.0		10	11.9	31.65	640	10	0	130	10	Dn10
		15	10.6	31.85	80	0	0	120	0	
		20	8.0	32.01	0	0	0	0	0	
		25	5.6	32.33	10	0	0	0	0	
		30	4.9	32.44	0	0	0	0	0	

＊*D.fortii*=*Dinophysis fortii* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾌｫﾙﾃｨ; *D.acum*.=*Dinophysis acuminata* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀ

Alexandrium ｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ =旧名 ﾌﾟﾛﾄｺﾞﾆｵﾗｯｸｽ, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*

Dn=*Dinophysis norvegica*ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾉﾙｳﾞｪｼﾞｶ, Dt= *Dinophysis tripos* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾄﾘﾎﾟｽ

Dm=*Dinophysis mitra* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾐﾄﾗ, Dc=*Dinophysis caudata*ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ　ｺｳﾀﾞｰﾀ

Di=*Dinophysis infundibula* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ｲﾝﾌｧﾝﾃﾞﾌﾞﾗ, Dru=*Dinophysis rudgei* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾙｼﾞｪｲ

Dro=*Dinophysis rotundata* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾛﾃｭﾝﾀﾞﾀ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾東部、噴火湾西部に出現しています。**両海域とも出現数が100細胞/Lを超えています。**

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾東部、噴火湾西部に出現しています

6月中旬の水温は、噴火湾東部では6.0～14.7℃、噴火湾西部では4.8～13.8℃です。

（担当：吉田秀嗣・金森　誠）

貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ速報（YC21）

（日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋）

2015年6月16日

中央水産試験場資源管理部

地　点 （透明度m）	月日	深度 （m）	水温 （℃）	塩分 （psu）	麻痺性原因種 At 細胞/L	下痢性原因種* Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
標津	6/12	0	9.8	32.00	0	0	10	0	
－		5	8.6	32.30	0	0	10	0	
		10	8.5	32.30	0	0	0	10	Dru
		15	8.5	32.31	0	0	0	20	Dru

*At = Alexandrium tamarenseｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ･ﾀﾏﾚﾝｾ =旧名 ﾌﾟﾛﾄｺﾞﾆｵﾗｯｸｽ･ﾀﾏﾚﾝｼｽ

Aa = Alexandrium affineｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ･ｱﾌｨﾈ（無毒種）

Df=Dinophysis fortii ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾌｫﾙﾃｨ, Da=Dinophysis acuminata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀ

Dro=Dinophysis rotundata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾛﾂﾝﾀﾞｰﾀ, Di=Dinophysis infundibula ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｲﾝﾌｧﾝﾃﾞｨﾌﾞﾗ

Dm=Dinophysis mitra ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾐﾄﾗ, Dn=Dinophysis norvegica ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾉﾙｳﾞｪｼﾞｶ, Dru=Dinophysis rudgei ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾙｼﾞｪｲ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝは、ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀ、ﾙｼﾞｪｲがわずかに出現しています。

（担当：海洋環境グループ　品田晃良、嶋田　宏、佐藤政俊）

貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ速報（YC20）

（日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋）

2015年6月12日

中央水産試験場資源管理部

地　点 （透明度m）	月日	深度 （m）	水温 （℃）	塩分 （psu）	麻痺性原因種 At 細胞/L	下痢性原因種* Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
能取湖	6/8	0	13.3	32.74	0	0	10	0	
（5.5）		10	12.2	33.10	0	0	0	30	Dn
サロマ湖	6/8	0	12.6	32..82	0	0	0	0	
（4.3）		3	12.4	32.85	0	0	0	0	
		6	12.4	32.89	0	0	0	10	Dn
		9	12.3	32.90	0	0	0	10	Dn
		12	12.3	32.95	0	0	0	10	Di
		15	12.1	32.90	0	0	0	0	
常呂	6/8	0	10.8	32.77	0	0	10	0	
（8.0）		10	9.8	33.62	0	0	0	0	
		20	9.7	33.69	10	0	0	0	
		30	9.4	33.72	0	0	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ・ﾀﾏﾚﾝｾ =旧名 ﾌﾟﾛﾄｺﾞﾆｵﾗｯｸｽ・ﾀﾏﾚﾝｼｽ

Aa = Alexandrium affineｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ・ｱﾌｨﾈ（無毒種）

Df=Dinophysis fortii ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ・ﾌｫﾙﾃｨ，Da=Dinophysis acuminata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ・ｱｷｭﾐﾅｰﾀ

Dro=Dinophysis rotundata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ・ﾛﾂﾝﾀﾞｰﾀ，Di=Dinophysis infundibula ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ・ｲﾝﾌｧﾝﾃﾞｨﾌﾞﾗ

Dm=Dinophysis mitra ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ・ﾐﾄﾗ，Dn=Dinophysis norvegica ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ・ﾉﾙｳﾞｪｼﾞｶ，Dru=Dinophysis rudgei ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾙｼﾞｪｲ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは常呂海域でわずかに出現しています。

下痢性貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝは、ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ・ｱｷｭﾐﾅｰﾀ、ﾉﾙｳﾞｪｼﾞｶおよびｲﾝﾌｧﾝﾃﾞｨﾌﾞﾗがわずかに出現しています。

（担当：海洋環境グループ　品田晃良、嶋田　宏、佐藤政俊）

貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ速報（HK17）

（函館水試担当地区）

2015年6月10日

函館水産試験場調査研究部

地　点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	麻痺性原因種 *At* 細胞/L	麻痺性原因種 *A*.o. 細胞/L	下痢性原因種* *D.fortii* 細胞/L	下痢性原因種* *D.acum.* 細胞/L	下痢性原因種* *D*属の他種 細胞/L	備考
静内	6/8	0	7.5	32.46	0	0	0	0	10	Dn10
太平洋中部		10	4.5	32.51	0	0	0	0	10	Dru10
10.0		20	4.0	32.61	0	0	0	0	0	
		30	3.9	32.60	0	0	0	0	0	

＊*D.fortii*=*Dinophysis fortii* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾌｫﾙﾃｨ; *D.acum*.=*Dinophysis acuminata* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀ

Alexandrium ｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ =旧名 ﾌﾟﾛﾄｺﾞﾆｵﾗｯｸｽ, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*

Dn=*Dinophysis norvegica*ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾉﾙｳﾞｪｼﾞｶ, Dt= *Dinophysis tripos* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾄﾘﾎﾟｽ

Dm=*Dinophysis mitra* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾐﾄﾗ, Dc=*Dinophysis caudata*ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ｺｳﾀﾞｰﾀ

Di=*Dinophysis infundibula* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ｲﾝﾌｧﾝﾃﾞﾌﾞﾗ, Dru=*Dinophysis rudgei* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾙｼﾞｪｲ

Dro=*Dinophysis rotundata* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾛﾃｭﾝﾀﾞﾀ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、太平洋中部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、太平洋中部に出現しています。

6月上旬の水温は、太平洋中部では3.9～7.5℃です。

（担当：吉田秀嗣・金森　誠）

貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ速報（HK16）

（函館水試担当地区）

2015年6月9日

函館水産試験場調査研究部

地　点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	麻痺性原因種 *At* 細胞/L	麻痺性原因種 *A*.o. 細胞/L	下痢性原因種* *D.fortii* 細胞/L	下痢性原因種* *D.acum.* 細胞/L	下痢性原因種* *D*属の他種 細胞/L		備考
森	6/3	0	12.9	31.56	60	0	0	110	0		
噴火湾西部		10	9.8	31.80	160	0	0	90	10	Dn10	
6.0		20	5.0	32.21	10	10	0	20	10	Dn10	
		30	3.5	32.64	20	0	0	30	0		

**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾌｫﾙﾃｨ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀ

Alexandrium ｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ =旧名 ﾌﾟﾛﾄｺﾞﾆｵﾗｯｸｽ, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*

Dn=*Dinophysis norvegica*ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾉﾙｳﾞｪｼﾞｶ, Dt= *Dinophysis tripos* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾄﾘﾎﾟｽ

Dm=*Dinophysis mitra* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾐﾄﾗ, Dc=*Dinophysis caudata*ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ　ｺｳﾀﾞｰﾀ

Di=*Dinophysis infundibula* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ｲﾝﾌｧﾝﾃﾞﾌﾞﾗ, Dru=*Dinophysis rudgei* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾙｼﾞｪｲ

Dro=*Dinophysis rotundata* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾛﾃｭﾝﾀﾞﾀ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾西部に出現しています。**出現数が100細胞/Lを超えています。注意して下さい。**

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾西部に出現しています。

6月上旬の水温は、噴火湾西部では3.5～12.9℃です。

（担当：吉田秀嗣・金森　誠）

貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ速報（YC19）

（日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋）

2015年6月4日

中央水産試験場資源管理部

地　点 （透明度m）	月日	深度 （m）	水温 （℃）	塩分 （psu）	麻痺性原因種 At 細胞/L	下痢性原因種* Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
厚岸	6/4	0	11.6	30.78	0	0	0	0	
(3.5)		5	8.8	31.91	0	0	10	30	Dn20, Dro10
		10	7.3	31.90	0	0	0	10	Dn
		13	5.1	32.31	0	0	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ･ﾀﾏﾚﾝｾ =旧名 ﾌﾟﾛﾄｺﾞﾆｵﾗｯｸｽ･ﾀﾏﾚﾝｼｽ

Aa = Alexandrium affineｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ･ｱﾌｨﾈ（無毒種）

Df=Dinophysis fortii ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾌｫﾙﾃｨ, Da=Dinophysis acuminata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀ

Dro=Dinophysis rotundata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾛﾂﾝﾀﾞｰﾀ, Di=Dinophysis infundibula ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｲﾝﾌｧﾝﾃﾞｨﾌﾞﾗ

Dm=Dinophysis mitra ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾐﾄﾗ, Dn=Dinophysis norvegica ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾉﾙｳﾞｪｼﾞｶ, Dru=Dinophysis rudgei ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾙｼﾞｪｲ

コメント

6月上旬の厚岸海域では

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝは、ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀ、ﾉﾙｳﾞｪｼﾞｶ、ﾛﾂﾝﾀﾞｰﾀがわずかに出現しています。

（担当：海洋環境グループ　品田晃良、嶋田　宏、佐藤政俊）

貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ速報（HK15）

（函館水試担当地区）

2015年6月4日

函館水産試験場調査研究部

地　点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	麻痺性原因種 *At* 細胞/L	麻痺性原因種 *A*.o. 細胞/L	下痢性原因種* *D.fortii* 細胞/L	下痢性原因種* *D.acum.* 細胞/L	下痢性原因種* *D*属の他種 細胞/L		備考
虻田	6/2	0	13.9	30.10	180	0	0	120	0		
噴火湾東部		5	10.9	31.84	20	0	0	110	10	Dn10	
10.5		10	9.7	31.84	130	0	0	60	10	Dn10	
		15	7.9	31.96	110	0	0	200	20	Dn20	
		20	5.2	32.25	150	0	0	80	0		
		25	3.9	32.57	20	0	0	30	0		

**D.fortii=Dinophysis fortii* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾌｫﾙﾃｨ; *D.acum.=Dinophysis acuminata* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀ

Alexandrium ｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ =旧名 ﾌﾟﾛﾄｺﾞﾆｵﾗｯｸｽ, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*

Dn=*Dinophysis norvegica*ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾉﾙｳﾞｪｼﾞｶ, Dt= *Dinophysis tripos* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾄﾘﾎﾟｽ

Dm=*Dinophysis mitra* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾐﾄﾗ, Dc=*Dinophysis caudata*ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ　ｺｳﾀﾞｰﾀ

Di=*Dinophysis infundibula* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ｲﾝﾌｧﾝﾃﾞﾌﾞﾗ, Dru=*Dinophysis rudgei* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾙｼﾞｪｲ

Dro=*Dinophysis rotundata* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾛﾃｭﾝﾀﾞﾀ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾東部に出現しています。**出現数が100細胞/Lを超えています。注意して下さい。**

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾東部に出現しています。

6月上旬の水温は、噴火湾東部では3.9～13.9℃です。

（担当：吉田秀嗣・金森　誠）

貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ速報（YC18）

（日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋）

2015年6月3日

中央水産試験場資源管理部

地　点 （透明度m）	月日	深度 （m）	水温 （℃）	塩分 （psu）	麻痺性原因種 At 細胞/L	下痢性原因種* Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
猿払	5/26	0	9.1	33.77	0	0	0	0
－		10	9.0	33.84	0	0	0	0
		15	9.0	33.88	0	0	0	0
		20	8.9	33.93	0	0	0	0
江差	5/27	0	13.9	33.97	0	0	0	0
（11.0）		10	12.7	34.03	0	0	0	0
		20	11.7	34.09	0	0	0	0
		30	10.9	34.11	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ・ﾀﾏﾚﾝｾ =旧名 ﾌﾟﾛﾄｺﾞﾆｵﾗｯｸｽ・ﾀﾏﾚﾝｼｽ

Aa = Alexandrium affineｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ・ｱﾌｨﾈ（無毒種）

Df=Dinophysis fortii ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ・ﾌｫﾙﾃｨ，Da=Dinophysis acuminata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ・ｱｷｭﾐﾅｰﾀ

Dro=Dinophysis rotundata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ・ﾛﾂﾝﾀﾞｰﾀ，Di=Dinophysis infundibula ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ・ｲﾝﾌｧﾝﾃﾞｨﾌﾞﾗ

Dm=Dinophysis mitra ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ・ﾐﾄﾗ，Dn=Dinophysis norvegica ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ・ﾉﾙｳﾞｪｼﾞｶ，Dru=Dinophysis rudgei ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾙｼﾞｪｲ

コメント

麻痺性貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝAtの出現はありません。

下痢性貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝも出現していません。

（担当：海洋環境グループ　品田晃良、嶋田　宏、佐藤政俊）

貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ速報（HK14）

（函館水試担当地区）

2015年6月2日

函館水産試験場調査研究部

地　点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	麻痺性原因種 *At* 細胞/L	麻痺性原因種 *A*.o. 細胞/L	下痢性原因種* *D.fortii* 細胞/L	下痢性原因種* *D.acum.* 細胞/L	下痢性原因種* *D*属の他種 細胞/L	備考
鹿部	5/28	0	10.7	31.85	200	0	0	60	0	
噴火湾湾口部		5	9.9	31.80	110	0	0	40	0	
7.0		10	8.0	32.17	70	0	0	60	10	Dn10
		15	6.7	32.20	50	10	0	20	30	Dn30
		20	4.4	32.47	160	0	0	20	60	Dn60
		25	3.8	32.54	0	0	0	0	0	
		30	3.8	32.65	0	0	0	0	0	
		40	3.7	32.75	0	0	0	0	0	

**D.fortii=Dinophysis fortii* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾌｫﾙﾃｲ; *D.acum.=Dinophysis acuminata* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀ

Alexandrium ｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ =旧名 ﾌﾟﾛﾄｺﾞﾆｵﾗｯｸｽ, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*

Dn=*Dinophysis norvegica*ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾉﾙｳﾞｪｼﾞｶ, Dt= *Dinophysis tripos* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾄﾘﾎﾟｽ

Dm=*Dinophysis mitra* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾐﾄﾗ, Dc=*Dinophysis caudata*ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ　ｺｳﾀﾞｰﾀ

Di=*Dinophysis infundibula* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ｲﾝﾌｧﾝﾃﾞﾌﾞﾗ, Dru=*Dinophysis rudgei* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾙｼﾞｪｲ

Dro=*Dinophysis rotundata* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾛﾃｭﾝﾀﾞﾀ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾湾口部に出現しています。**出現数が100細胞/Lを超えています。注意して下さい。**

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾湾口部に出現しています。

5月下旬の水温は、噴火湾湾口部では3.7～10.7℃です。

（担当：吉田秀嗣・金森　誠）

貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ速報（YC17）

（日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋）

2015年6月1日

中央水産試験場資源管理部

地　点 （透明度m）	月日	深度 （m）	水温 （℃）	塩分 （psu）	麻痺性原因種 At 細胞/L	下痢性原因種* Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
標津	5/28	0	9.0	31.13	0	0	0	0	
(8.0)		5	7.7	31.52	0	0	0	0	
		10	6.2	31.90	0	0	10	0	
		15	4.5	32.36	0	0	0	0	
増毛	5/25	0	10.8	33.82	0	0	0	0	
(13.0)		10	10.6	33.59	0	0	0	10	Dru
		20	10.6	33.73	0	0	20	0	
		30	10.3	33.72	0	0	0	0	
厚岸	5/29	0	10.2	31.53	0	0	10	0	
(4.3)		5	7.9	32.08	0	0	20	30	Dn
		10	7.0	32.12	0	0	0	50	Dn
		13	6.3	32.18	0	0	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ･ﾀﾏﾚﾝｾ =旧名 ﾌﾟﾛﾄｺﾞﾆｵﾗｯｸｽ･ﾀﾏﾚﾝｼｽ

Aa = Alexandrium affineｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ･ｱﾌｨﾈ（無毒種）

Df=Dinophysis fortii ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾌｫﾙﾃｨ,　Da=Dinophysis acuminata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀ

Dro=Dinophysis rotundata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾛﾂﾝﾀﾞｰﾀ,　Di=Dinophysis infundibula ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｲﾝﾌｧﾝﾃﾞｨﾌﾞﾗ

Dm=Dinophysis mitra ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾐﾄﾗ, Dn=Dinophysis norvegica ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾉﾙｳﾞｪｼﾞｶ, Dru=Dinophysis rudgei ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾙｼﾞｪｲ

コメント

５月下旬の標津、増毛、厚岸海域では
麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝは、ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀが標津、増毛、厚岸海域でわずかに出現しています。
厚岸ではﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾉﾙｳﾞｪｼﾞｶが出現しています。増毛ではﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾙｼﾞｪｲがわずかに出現しています。

（担当：海洋環境グループ　品田晃良、嶋田　宏、佐藤政俊）

貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ速報（YC16）

（日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋）

2015年5月28日

中央水産試験場資源管理部

地　点 （透明度m）	月日	深度 （m）	水温 （℃）	塩分 （psu）	麻痺性原因種 At 細胞/L	下痢性原因種* Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
浜益	5/18	0	10.79	32.88	0	0	0	0
（5.0）		10	10.3	33.39	0	0	0	0
		20	10.26	33.56	0	0	0	0
		30	9.99	33.71	0	0	0	0
能取湖	5/25	0	12.0	32.52	0	0	10	0
（6.4）		10	11.0	33.04	0	0	0	0
網走	5/25	0	8.6	33.15	0	0	0	0
（6.0）		10	8.5	33.31	0	0	10	0
		20	8.4	33.29	0	0	0	0
		30	7.9	33.35	0	0	10	0

*At = Alexandrium tamarenseｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ･ﾀﾏﾚﾝｾ =旧名 ﾌﾟﾛﾄｺﾞﾆｵﾗｯｸｽ･ﾀﾏﾚﾝｼｽ

Aa = Alexandrium affineｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ･ｱﾌｨﾈ（無毒種）

Df=Dinophysis fortii ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾌｫﾙﾃｨ,　Da=Dinophysis acuminata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀ

Dro=Dinophysis rotundata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾛﾂﾝﾀﾞｰﾀ,　Di=Dinophysis infundibula ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｲﾝﾌｧﾝﾃﾞｨﾌﾞﾗ

Dm=Dinophysis mitra ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾐﾄﾗ, Dn=Dinophysis norvegica ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾉﾙｳﾞｪｼﾞｶ, Dru=Dinophysis rudgei ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾙｼﾞｪｲ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝは、能取湖と網走海域でﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀがわずかに出現しています。

（担当：海洋環境グループ　品田晃良、嶋田　宏、佐藤政俊）

貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ速報（YC15）

（日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋）

2015年5月25日

中央水産試験場資源管理部

地　点 （透明度m）	月日	深度 （m）	水温 （℃）	塩分 （psu）	麻痺性原因種 At 細胞/L	下痢性原因種* Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
猿払	5/18	0	9.3	33.45	0	10	0	0
－		10	9.3	33.49	0	0	0	0
		15	9.2	33.55	0	0	0	0
		20	9.0	33.68	0	0	0	0
紋別	5/18	0	9.9	33.45	0	0	0	0
(9.0)		15	9.4	33.47	0	0	0	0
		25	9.3	33.48	0	10	0	0
		40	9.3	33.49	0	10	0	0

*At = Alexandrium tamarenseｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ・ﾀﾏﾚﾝｾ =旧名 ﾌﾟﾛﾄｺﾞﾆｵﾗｯｸｽ・ﾀﾏﾚﾝｼｽ

Aa = Alexandrium affineｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ・ｱﾌｨﾈ（無毒種）

Df=Dinophysis fortii ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ・ﾌｫﾙﾃｨ，Da=Dinophysis acuminata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ・ｱｷｭﾐﾅｰﾀ

Dro=Dinophysis rotundata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ・ﾛﾂﾝﾀﾞｰﾀ，Di=Dinophysis infundibula ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ・ｲﾝﾌｧﾝﾃﾞｨﾌﾞﾗ

Dm=Dinophysis mitra ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ・ﾐﾄﾗ，Dn=Dinophysis norvegica ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ・ﾉﾙｳﾞｪｼﾞｶ，Dru=Dinophysis rudgei ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾙｼﾞｪｲ

コメント

麻痺性貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝAtの出現はありません。

下痢性貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝは、猿払および紋別でﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ・ﾌｫﾙﾃｨがわずかに出現しています。

（担当：海洋環境グループ　品田晃良、嶋田　宏、佐藤政俊）

貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ速報（HK13）

（函館水試担当地区）

2015年5月25日

函館水産試験場調査研究部

地　点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	麻痺性原因種 *At* 細胞/L	麻痺性原因種 *A*.o. 細胞/L	下痢性原因種* *D.fortii* 細胞/L	下痢性原因種* *D.acum.* 細胞/L	下痢性原因種* *D*属の他種 細胞/L		備考
森	5/21	0	8.6	31.48	690	0	0	50	0		
噴火湾西部		10	6.8	31.90	390	0	0	20	10	Dn10	
5.0		20	4.6	32.36	70	10	0	20	0		
		30	3.6	32.58	0	0	0	0	0		

**D.fortii=Dinophysis fortii* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾌｫﾙﾃｨ; *D.acum.=Dinophysis acuminata* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀ

Alexandrium ｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ =旧名 ﾌﾟﾛﾄｺﾞﾆｵﾗｯｸｽ, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*

Dn=*Dinophysis norvegica*ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾉﾙｳﾞｪｼﾞｶ, Dt= *Dinophysis tripos* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾄﾘﾎﾟｽ

Dm=*Dinophysis mitra* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾐﾄﾗ, Dc=*Dinophysis caudata*ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ　ｺｳﾀﾞｰﾀ

Di=*Dinophysis infundibula* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ｲﾝﾌｧﾝﾃﾞﾌﾞﾗ, Dru=*Dinophysis rudgei* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾙｼﾞｪｲ

Dro=*Dinophysis rotundata* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾛﾃｭﾝﾀﾞﾀ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾西部に出現しています。**出現数が100細胞/Lを超えています。注意して下さい。**

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾西部に出現しています。

5月下旬の水温は、噴火湾西部では3.6～8.6℃です。

（担当：吉田秀嗣・金森　誠）

貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ速報（HK12）

（函館水試担当地区）

2015年5月22日

函館水産試験場調査研究部

地　点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	麻痺性原因種 *At* 細胞/L	麻痺性原因種 *A*.o. 細胞/L	下痢性原因種* *D.fortii* 細胞/L	下痢性原因種* *D.acum.* 細胞/L	下痢性原因種* *D*属の他種 細胞/L	備考
静内	5/18	0	6.3	32.02	0	0	0	20	20	Dn10, Dru10
太平洋中部		10	5.2	32.27	0	0	0	10	20	Dn20
6.0		20	3.4	32.60	0	0	0	0	0	
		30	2.3	32.71	0	0	0	0	0	
虻田	5/18	0	9.7	28.10	2,760	0	0	10	0	
噴火湾東部		5	8.1	31.79	150	0	0	0	0	
10.5		10	7.5	31.88	90	0	0	0	0	
		15	5.2	32.16	340	0	0	0	0	
		20	4.0	32.40	10	0	0	0	0	
		25	3.5	32.60	10	0	0	0	0	
八雲	5/18	0	9.4	31.44	340	0	0	110	0	
噴火湾西部		5	8.8	31.64	360	0	0	330	0	
4.0		10	8.5	31.68	600	0	0	70	0	
		15	6.3	32.04	70	0	0	30	10	Dn10
		20	4.7	32.32	0	10	0	0	0	
		25	4.4	32.36	0	0	0	20	0	
		30	4.2	32.42	10	0	0	0	0	
知内	5/18	0	10.6	33.98	0	0	0	0	0	
津軽海峡		10	10.2	33.99	0	0	0	10	0	
12.0		20	10.0	34.04	0	0	0	0	0	

**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾌｫﾙﾃｲ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀ

Alexandrium ｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ =旧名 ﾌﾟﾛﾄｺﾞﾆｵﾗｯｸｽ, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*

Dn=*Dinophysis norvegica*ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾉﾙｳﾞｪｼﾞｶ, Dt= *Dinophysis tripos* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾄﾘﾎﾟｽ

Dm=*Dinophysis mitra* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾐﾄﾗ, Dc=*Dinophysis caudata*ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ｺｳﾀﾞｰﾀ

Di=*Dinophysis infundibula* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ｲﾝﾌｧﾝﾃﾞﾌﾞﾗ, Dru=*Dinophysis rudgei* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾙｼﾞｪｲ

Dro=*Dinophysis rotundata* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾛﾃｭﾝﾀﾞﾀ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾東部、噴火湾西部に出現しています。**両海域とも出現数が100細胞/Lを超えています。注意して下さい。**太平洋中部、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾西部、津軽海峡に出現しています。

5月中旬の水温は、太平洋中部では2.3～6.3℃、噴火湾東部では3.5～9.7℃、噴火湾西部では4.2～9.4、津軽海峡では10.0～10.6℃です。

（担当：吉田秀嗣・金森　誠）

貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ速報（YC14）

（日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋）

2015年5月20日

中央水産試験場資源管理部

地　点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	麻痺性原因種 At 細胞/L	下痢性原因種* Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
頓別	5/13	0	9.4	33.51	0	10	10	10	Dru
–		10	9.4	33.52	0	0	0	0	
		20	9.4	33.54	0	0	0	0	
		30	9.4	33.52	0	0	0	0	
サロマ湖	5/18	0	10.6	32.03	0	0	0	0	
(6.4)		3	10.5	32.04	0	0	0	0	
		6	10.5	32.04	0	0	0	0	
		9	10.6	32.17	0	0	0	0	
		12	10.0	32.26	0	0	0	0	
		15	9.0	32.53	0	0	0	0	
常呂	5/18	0	9.5	33.31	0	0	0	0	
(9.0)		10	9.1	33.40	0	0	0	0	
		20	8.9	33.50	0	0	0	0	
		30	8.9	33.51	0	0	0	0	
標津	5/18	0	6.4	31.49	0	0	20	10	Dru
(5.0)		5	6.4	31.49	0	0	0	20	Dru
		10	5.2	31.80	0	0	0	0	
		15	3.8	32.08	0	0	0	0	
江差	5/14	0	11.8	33.88	0	0	0	0	
(7.0)		10	11.7	34.02	0	0	0	0	
		20	11.3	34.02	0	0	0	0	
		30	10.5	34.11	0	0	0	0	
増毛	5/15	0	10.5	32.76	0	0	0	0	
(10.0)		10	9.6	33.49	0	10	0	0	
		20	9.2	33.80	0	10	0	0	
		30	–	–	0	0	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ･ﾀﾏﾚﾝｾ =旧名 ﾌﾟﾛﾄｺﾞﾆｵﾗｯｸｽ･ﾀﾏﾚﾝｼｽ

Aa = Alexandrium affineｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ･ｱﾌｨﾈ（無毒種）

Df=Dinophysis fortii ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾌｫﾙﾃｨ, Da=Dinophysis acuminata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀ

Dro=Dinophysis rotundata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾛﾂﾝﾀﾞｰﾀ, Di=Dinophysis infundibula ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｲﾝﾌｧﾝﾃﾞｨﾌﾞﾗ

Dm=Dinophysis mitra ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾐﾄﾗ, Dn=Dinophysis norvegica ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾉﾙｳﾞｪｼﾞｶ, Dru=Dinophysis rudgei ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾙｼﾞｪｲ

コメント

麻痺性貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝAtの出現はありません。

下痢性貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝは、頓別、標津および増毛海域でﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾌｫﾙﾃｨ、ｱｷｭﾐﾅｰﾀ、ﾙｼﾞｪｲがわずかに出現しています。

（担当：海洋環境グループ　品田晃良、嶋田　宏、佐藤政俊）

貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ速報（YC13）

（日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋）

2015年5月15日

中央水産試験場資源管理部

地　点 （透明度m）	月日	深度 （m）	水温 （℃）	塩分 （psu）	麻痺性原因種 At 細胞/L	下痢性原因種* Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
能取湖	5/11	0	10.9	32.26	0	0	20	0
（6.4）		10	8.9	32.83	0	0	20	0

*At = Alexandrium tamarenseｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ・ﾀﾏﾚﾝｾ =旧名 ﾌﾟﾛﾄｺﾞﾆｵﾗｯｸｽ・ﾀﾏﾚﾝｼｽ

Aa = Alexandrium affineｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ・ｱﾌｨﾈ（無毒種）

Df=Dinophysis fortii ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ・ﾌｫﾙﾃｨ，Da=Dinophysis acuminata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ・ｱｷｭﾐﾅｰﾀ

Dro=Dinophysis rotundata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ・ﾛﾂﾝﾀﾞｰﾀ，Di=Dinophysis infundibula ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ・ｲﾝﾌｧﾝﾃﾞｨﾌﾞﾗ

Dm=Dinophysis mitra ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ・ﾐﾄﾗ，Dn=Dinophysis norvegica ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ・ﾉﾙｳﾞｪｼﾞｶ，Dru=Dinophysis rudgei ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾙｼﾞｪｲ

コメント

5月上旬の能取湖海域では

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝは、ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ・ｱｷｭﾐﾅｰﾀが出現しています。

（担当：海洋環境グループ　品田晃良、嶋田　宏、佐藤政俊）

貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ速報（HK１１）

（函館水試担当地区）

2015年5月19日

函館水産試験場調査研究部

地　点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	麻痺性原因種 *At* 細胞/L	麻痺性原因種 *A*.o. 細胞/L	下痢性原因種* *D.fortii* 細胞/L	下痢性原因種* *D.acum.* 細胞/L	下痢性原因種* *D*属の他種 細胞/L	備考
静内	5/8	0	6.9	31.87	0	0	0	10	10	Dn10
太平洋中部		10	4.9	32.40	0	0	0	40	60	Dn50, Dro10
7.5		20	5.5	32.86	0	0	0	0	10	Dro10
		30	2.6	32.72	0	0	0	0	0	
虻田	5/7	0	9.5	29.83	70	0	0	10	0	
噴火湾東部		5	8.2	31.77	70	0	0	40	0	
10.5		10	6.1	31.95	10	0	0	30	0	
		15	5.0	32.19	10	0	0	10	10	Dn10
		20	4.6	32.24	0	0	0	0	0	
		25	4.3	32.36	80	10	0	0	10	Dn10
森	5/1	0	8.5	31.40	0	0	0	1090	0	
噴火湾西部		10	7.0	31.97	0	0	0	240	10	Dn10
8.0		20	5.3	32.13	0	0	0	30	0	
		30	3.7	32.47	0	0	0	10	0	

**D.fortii=Dinophysis fortii* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾌｫﾙﾃｨ; *D.acum.=Dinophysis acuminata* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀ

Alexandrium ｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ =旧名 ﾌﾟﾛﾄｺﾞﾆｵﾗｯｸｽ, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*

Dn=*Dinophysis norvegica*ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾉﾙｳﾞｪｼﾞｶ, Dt= *Dinophysis tripos* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾄﾘﾎﾟｽ

Dm=*Dinophysis mitra* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾐﾄﾗ, Dc=*Dinophysis caudata*ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ｺｳﾀﾞｰﾀ

Di=*Dinophysis infundibula* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ｲﾝﾌｧﾝﾃﾞﾌﾞﾗ, Dru=*Dinophysis rudgei* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾙｼﾞｪｲ

Dro=*Dinophysis rotundata* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾛﾃｭﾝﾀﾞﾀ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾東部に出現しています。太平洋中部、噴火湾西部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾西部に出現しています。

5月上旬の水温は、太平洋中部では2.6～6.9℃、噴火湾東部では4.3～9.5℃、噴火湾西部では3.7～8.5です。

（担当：吉田秀嗣・金森　誠）

貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ速報（YC12）

（日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋）

2015年5月11日

中央水産試験場資源管理部

地　点 （透明度m）	月日	深度 （m）	水温 （℃）	塩分 （psu）	麻痺性原因種 At 細胞/L	下痢性原因種* Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
厚岸	5/8	0	8.5	30.73	0	0	0	0
(4.5)		5	5.6	31.82	0	0	0	0
		10	3.9	32.01	0	0	0	0
		12	2.7	32.21	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ･ﾀﾏﾚﾝｾ =旧名 ﾌﾟﾛﾄｺﾞﾆｵﾗｯｸｽ･ﾀﾏﾚﾝｼｽ

Aa = Alexandrium affineｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ･ｱﾌｨﾈ（無毒種）

Df=Dinophysis fortii ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾌｫﾙﾃｨ,　Da=Dinophysis acuminata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀ

Dro=Dinophysis rotundata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾛﾂﾝﾀﾞｰﾀ,　Di=Dinophysis infundibula ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｲﾝﾌｧﾝﾃﾞｨﾌﾞﾗ

Dm=Dinophysis mitra ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾐﾄﾗ, Dn=Dinophysis norvegica ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾉﾙｳﾞｪｼﾞｶ, Dru=Dinophysis rudgei ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾙｼﾞｪｲ

コメント

5月上旬の厚岸域では、麻痺性貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝAtの出現はありません。

下痢性貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝも出現していません。

（担当：海洋環境グループ　品田晃良、嶋田　宏、佐藤政俊）

貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ速報（YC11）

（日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋）

2015年5月11日

中央水産試験場資源管理部

地　点 （透明度m）	月日	深度 （m）	水温 （℃）	塩分 （psu）	麻痺性原因種 At 細胞/L	下痢性原因種* Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
常呂	5/7	0	9.2	33.08	0	0	0	0
（14.0）		10	8.6	33.44	0	0	0	0
		20	8.4	33.51	0	0	10	0
		30	8.4	33.54	0	0	10	0
サロマ湖	5/7	0	10.9	30.82	0	0	30	0
（5.2）		3	10.9	30.82	0	0	0	0
		6	10.8	31.15	0	0	10	0
		9	8.6	31.34	0	0	0	0
		12	6.9	32.24	0	0	0	0
		15	6.5	32.59	0	0	0	0
江差	4/28	0	9.2	34.20	0	0	0	0
（9.0）		10	9.1	34.13	0	0	0	0
		20	9.1	34.13	0	0	0	0
		30	9.1	34.13	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ･ﾀﾏﾚﾝｾ =旧名 ﾌﾟﾛﾄｺﾞﾆｵﾗｯｸｽ･ﾀﾏﾚﾝｼｽ

Aa = Alexandrium affineｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ･ｱﾌｨﾈ（無毒種）

Df=Dinophysis fortii ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾌｫﾙﾃｨ,　Da=Dinophysis acuminata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀ

Dro=Dinophysis rotundata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾛﾂﾝﾀﾞｰﾀ,　Di=Dinophysis infundibula ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｲﾝﾌｧﾝﾃﾞｨﾌﾞﾗ

Dm=Dinophysis mitra ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾐﾄﾗ, Dn=Dinophysis norvegica ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾉﾙｳﾞｪｼﾞｶ, Dru=Dinophysis rudgei ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾙｼﾞｪｲ

コメント

麻痺性貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝAtの出現はありません。

下痢性貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝは、常呂とサロマ湖でﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀがわずかに出現しています。

（担当：海洋環境グループ　品田晃良、嶋田　宏）

貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ速報（HK10）

（函館水試担当地区）

2015年5月7日

函館水産試験場調査研究部

地　点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	麻痺性原因種 *At* 細胞/L	麻痺性原因種 *A*.o. 細胞/L	下痢性原因種* *D.fortii* 細胞/L	下痢性原因種* *D.acum.* 細胞/L	下痢性原因種* *D*属の他種 細胞/L	備考
静内	4/22	0	3.9	31.78	0	0	0	10	0	
太平洋中部		10	3.5	31.96	0	0	0	10	20	Dn10, Dro10
4.0		20	3.0	32.25	0	0	0	10	0	
		30	2.8	32.29	0	0	0	0	0	
森	4/21	0	4.4	32.18	0	0	0	160	0	
噴火湾西部		10	4.3	32.18	10	0	0	110	0	
9.0		20	4.1	32.23	0	0	0	70	0	
		30	3.4	32.58	0	0	0	0	0	
鹿部	4/24	0	6.0	31.63	0	0	0	470	10	Dn10
噴火湾湾口部		5	5.8	31.58	60	10	0	240	0	
7.0		10	5.0	31.94	0	0	0	0	10	Dn10
		15	4.6	32.07	0	0	0	80	0	
		20	4.3	32.25	0	0	0	10	10	Dro10
		25	4.2	32.38	10	0	0	0	0	
		30	3.5	32.59	0	0	0	0	0	
		40	3.1	32.69	0	0	0	0	0	

**D.fortii=Dinophysis fortii* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾌｫﾙﾃｨ; *D.acum.=Dinophysis acuminata* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀ

Alexandrium ｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ =旧名 ﾌﾟﾛﾄｺﾞﾆｵﾗｯｸｽ, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*

Dn=*Dinophysis norvegica*ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾉﾙｳﾞｪｼﾞｶ, Dt= *Dinophysis tripos* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾄﾘﾎﾟｽ

Dm=*Dinophysis mitra* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾐﾄﾗ, Dc=*Dinophysis caudata*ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ　ｺｳﾀﾞｰﾀ

Di=*Dinophysis infundibula* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ｲﾝﾌｧﾝﾃﾞﾌﾞﾗ, Dru=*Dinophysis rudgei* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾙｼﾞｪｲ

Dro=*Dinophysis rotundata* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾛﾃｭﾝﾀﾞﾀ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾西部、噴火湾湾口部に出現しています。太平洋中部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾西部、噴火湾湾口部に出現しています。

4月下旬の水温は、太平洋中部では2.8～3.9℃、噴火湾西部では3.4～4.4℃、噴火湾湾口部では3.1～6.0です。

（担当：吉田秀嗣・金森　誠）

貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ速報（YC10）

（日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋）

2015年5月1日

中央水産試験場資源管理部

地　点 （透明度m）	月日	深度 （m）	水温 （℃）	塩分 （psu）	麻痺性原因種 At 細胞/L	下痢性原因種* Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
標津	4/28	0	4.4	30.98	0	0	0	0	
(5.0)		5	3.8	31.63	0	0	0	0	
		10	0.6	32.14	0	0	0	0	
		15	0.0	32.27	0	0	0	0	
能取湖	4/28	0	8.3	30.64	0	0	130	10	Dn
(5.5)		10	5.9	32.51	0	0	20	0	
増毛	4/23	0	8.3	33.66	0	0	0	0	
(5.0)		10	7.9	33.51	0	0	0	0	
		20	7.9	33.61	0	0	10	0	
		30	7.8	33.77	0	0	10	0	

*At = Alexandrium tamarenseｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ･ﾀﾏﾚﾝｾ =旧名 ﾌﾟﾛﾄｺﾞﾆｵﾗｯｸｽ･ﾀﾏﾚﾝｼｽ

Aa = Alexandrium affineｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ･ｱﾌｨﾈ（無毒種）

Df=Dinophysis fortii ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾌｫﾙﾃｨ,　Da=Dinophysis acuminata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀ

Dro=Dinophysis rotundata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾛﾂﾝﾀﾞｰﾀ,　Di=Dinophysis infundibula ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｲﾝﾌｧﾝﾃﾞｨﾌﾞﾗ

Dm=Dinophysis mitra ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾐﾄﾗ, Dn=Dinophysis norvegica ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾉﾙｳﾞｪｼﾞｶ, Dru=Dinophysis rudgei ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾙｼﾞｪｲ

コメント

4月下旬の標津、能取湖、増毛海域では
麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝは、能取湖ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀが多く出現しています。
増毛ではﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀがわずかに出現しています。

（担当：海洋環境グループ　品田晃良、嶋田　宏）

貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ速報（YC9）

（日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋）

2015年4月27日

中央水産試験場資源管理部

地　点 （透明度m）	月日	深度 （m）	水温 （℃）	塩分 （psu）	麻痺性原因種 At 細胞/L	下痢性原因種* Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
厚岸	4/24	0	5.8	30.91	0	0	0	0
(2.0)		5	4.6	31.40	0	0	0	0
		10	3.6	31.66	0	0	0	0
		12	2.6	32.00	0	0	0	0
猿払	4/20	0	6.7	33.67	0	0	20	0
ー		10	6.6	33.76	0	0	0	0
		15	6.6	33.83	0	0	10	0
		20	6.5	33.88	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ・ﾀﾏﾚﾝｾ =旧名 ﾌﾟﾛﾄｺﾞﾆｵﾗｯｸｽ・ﾀﾏﾚﾝｼｽ

Aa = Alexandrium affineｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ・ｱﾌｨﾈ（無毒種）

Df=Dinophysis fortii ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ・ﾌｫﾙﾃｨ,　Da=Dinophysis acuminata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ・ｱｷｭﾐﾅｰﾀ

Dro=Dinophysis rotundata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ・ﾛﾂﾝﾀﾞｰﾀ,　Di=Dinophysis infundibula ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ・ｲﾝﾌｧﾝﾃﾞｨﾌﾞﾗ

Dm=Dinophysis mitra ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ・ﾐﾄﾗ, Dn=Dinophysis norvegica ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ・ﾉﾙｳﾞｪｼﾞｶ, Dru=Dinophysis rudgei ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾙｼﾞｪｲ

コメント

4月下旬の厚岸、猿払、常呂、サロマ湖域では、麻痺性貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝAtの出現はありません。

下痢性貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝは、ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ・ｱｷｭﾐﾅｰﾀが出現しています。

（担当：海洋環境グループ　品田晃良、嶋田　宏）

貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ速報（HKO9）

（函館水試担当地区）

2015年4月22日

函館水産試験場調査研究部

地　点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	麻痺性原因種 *At* 細胞/L	麻痺性原因種 *A*.o. 細胞/L	下痢性原因種* *D.fortii* 細胞/L	下痢性原因種* *D.acum.* 細胞/L	下痢性原因種* *D*属の他種 細胞/L	備考
静内	4/13	0	2.8	32.35	0	0	0	0	0	
太平洋中部		10	2.3	32.55	0	0	0	10	0	
8.0		20	2.2	32.60	0	0	0	0	0	
		30	2.1	32.65	0	0	0	0	0	
虻田	4/20	0	5.4	31.51	0	0	0	170	0	
噴火湾東部		5	4.8	32.20	0	0	0	50	0	
15.0		10	4.6	32.29	0	0	0	130	10	Dn10
		15	4.4	32.32	0	0	0	0	0	
		20	4.2	32.37	0	0	0	0	0	
		25	3.6	32.50	0	0	0	0	0	
知内	4/16	0	9.1	33.33	0	0	0	70	0	
津軽海峡		10	8.9	33.65	0	0	0	30	0	
11.0		20	9.0	33.70	0	0	0	10	0	

**D.fortii=Dinophysis fortii* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾌｫﾙﾃｨ; *D.acum.=Dinophysis acuminata* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀ

Alexandrium ｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ =旧名 ﾌﾟﾛﾄｺﾞﾆｵﾗｯｸｽ, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*

Dn=*Dinophysis norvegica*ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾉﾙｳﾞｪｼﾞｶ, Dt= *Dinophysis tripos* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾄﾘﾎﾟｽ

Dm=*Dinophysis mitra* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾐﾄﾗ, Dc=*Dinophysis caudata*ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ　ｺｳﾀﾞｰﾀ

Di=*Dinophysis infundibula* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ｲﾝﾌｧﾝﾃﾞﾌﾞﾗ, Dru=*Dinophysis rudgei* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾙｼﾞｪｲ

Dro=*Dinophysis rotundata* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾛﾃｭﾝﾀﾞﾀ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾東部、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾東部、津軽海峡に出現しています。

4月中旬の水温は、太平洋中部では2.1～2.8℃、噴火湾東部では3.6～5.4℃、津軽海峡では8.9～9.1です。

（担当：吉田秀嗣・金森　誠）

貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ速報（YC8）

（日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋）

2015年4月22日

中央水産試験場資源管理部

地　点 （透明度m）	月日	深度 （m）	水温 （℃）	塩分 （psu）	麻痺性原因種 At 細胞/L	下痢性原因種* Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
江差	4/14	0	9.6	33.87	0	0	0	0	
(9.0)		10	9.0	33.91	0	0	0	0	
		20	9.0	33.97	0	0	0	0	
		30	9.0	33.97	0	0	0	0	
浜益	4/15	0	8.2	31.31	0	0	0	0	
(6.0)		10	8.1	31.74	0	0	10	0	
		20	7.7	32.76	0	0	0	0	
		30	7.7	33.80	0	0	0	0	
増毛	4/14	0	8.4	32.91	0	0	0	0	
(12.0)		10	7.8	33.28	0	0	0	0	
		20	7.7	33.49	0	0	0	0	
		30	7.7	33.66	0	0	10	0	
頓別	4/17	0	6.5	33.55	0	0	10	0	
(-)		10	6.5	33.61	0	0	40	0	
		20	6.5	33.62	0	0	10	0	
		30	6.5	33.63	0	0	10	0	
常呂	4/20	0	6.3	32.91	0	0	20	0	
(8.0)		10	6.4	33.28	0	0	30	0	
		20	6.1	33.43	0	0	10	0	
		30	6.2	33.45	0	0	20	0	
サロマ湖	4/20	0	5.4	30.19	0	0	0	0	
(3.5)		3	5.4	30.20	0	0	0	0	
		6	5.2	31.00	0	0	10	0	
		9	4.9	31.47	0	0	10	0	
		12	4.8	31.67	0	0	0	0	
		15	4.7	31.68	0	0	0	0	
能取湖	4/16	0	5.1	30.44	0	0	30	0	
(4.5)		10	5.2	31.92	0	0	10	0	
網走	4/16	0	4.2	32.09	0	0	200	0	
(5.0)		10	3.1	32.60	0	0	90	0	
		20	2.1	32.70	0	0	90	10	Di
		30	1.9	32.78	0	0	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ･ﾀﾏﾚﾝｾ =旧名 ﾌﾟﾛﾄｺﾞﾆｵﾗｯｸｽ･ﾀﾏﾚﾝｼｽ

Aa = Alexandrium affineｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ･ｱﾌｨﾈ（無毒種）

Df=Dinophysis fortii ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾌｫﾙﾃｨ,　Da=Dinophysis acuminata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀ

Dro=Dinophysis rotundata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾛﾂﾝﾀﾞｰﾀ,　Di=Dinophysis infundibula ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｲﾝﾌｧﾝﾃﾞｨﾌﾞﾗ

Dm=Dinophysis mitra ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾐﾄﾗ, Dn=Dinophysis norvegica ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾉﾙｳﾞｪｼﾞｶ, Dru=Dinophysis rudgei ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾙｼﾞｪｲ

コメント

4月中旬の日本海南部(江差)、石狩湾(浜益)、日本海北部(増毛)、宗谷南部(頓別)、
網走中部(常呂)、サロマ湖、能取湖および網走南部(網走)海域では、
麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝは、日本海南部を除く海域で、主にﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀが出現しています。

（担当：海洋環境グループ　品田晃良、嶋田　宏）

貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ速報（YC7）

（日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋）

2015年4月17日

中央水産試験場資源管理部

地　点 （透明度m）	月日	深度 （m）	水温 （℃）	塩分 （psu）	麻痺性原因種 At 細胞/L	下痢性原因種* Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
紋別	4/13	0	2.7	32.79	0	0	0	20	Di
（10.5）		15	4.9	33.47	0	0	60	20	Di
		25	5.0	33.49	0	0	20	10	Di
		40	5.0	33.49	0	0	80	0	

*At = Alexandrium tamarenseｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ･ﾀﾏﾚﾝｾ =旧名 ﾌﾟﾛﾄｺﾞﾆｵﾗｯｸｽ･ﾀﾏﾚﾝｼｽ

Aa = Alexandrium affineｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ･ｱﾌｨﾈ（無毒種）

Df=Dinophysis fortii ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾌｫﾙﾃｨ, Da=Dinophysis acuminata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀ

Dro=Dinophysis rotundata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾛﾂﾝﾀﾞｰﾀ, Di=Dinophysis infundibula ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｲﾝﾌｧﾝﾃﾞｨﾌﾞﾗ

Dm=Dinophysis mitra ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾐﾄﾗ, Dn=Dinophysis norvegica ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾉﾙｳﾞｪｼﾞｶ, Dru=Dinophysis rudgei ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾙｼﾞｪｲ

コメント

4月の紋別海域では、麻痺性貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝAtは
出現していません。

下痢性貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝは、ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀとｲﾝﾌｧﾝﾃﾞｨﾌﾞﾗが出現しています。

（担当：海洋環境グループ　品田晃良、嶋田　宏）

貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ速報（HKO8）

（函館水試担当地区）

2015年4月14日

函館水産試験場調査研究部

地　点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	麻痺性原因種 *At* 細胞/L	麻痺性原因種 *A*.o. 細胞/L	下痢性原因種* *D.fortii* 細胞/L	下痢性原因種* *D.acum.* 細胞/L	下痢性原因種* *D*属の他種 細胞/L	備考
虻田	4/6	0	4.6	31.62	0	0	0	0	0	
噴火湾東部		5	4.0	32.32	10	0	0	30	0	
5.5		10	3.8	32.33	0	0	0	20	20	Dn20
		15	3.6	32.34	0	0	0	20	0	
		20	3.7	32.38	0	0	0	20	0	
		25	3.7	32.38	0	0	0	30	0	
八雲	4/8	0	4.6	29.62	0	0	0	90	0	
噴火湾西部		5	4.4	31.58	0	0	0	520	20	Dn20
3.0		10	4.3	31.78	0	0	0	110	0	
		15	4.1	32.00	0	0	0	0	0	
		20	3.8	32.34	0	0	0	0	0	
		25	3.0	32.55	0	0	0	10	0	
		30	3.0	32.54	0	0	0	0	0	
森	4/6	0	3.1	32.87	0	0	0	0	0	
噴火湾西部		10	3.1	32.86	0	0	0	0	0	
6.0		20	3.1	32.96	0	0	0	0	0	
		30	3.4	33.13	0	0	0	0	0	

**D.fortii=Dinophysis fortii* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾌｫﾙﾃｨ; *D.acum.=Dinophysis acuminata* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀ

Alexandrium ｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ =旧名 ﾌﾟﾛﾄｺﾞﾆｵﾗｯｸｽ, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*

Dn=*Dinophysis norvegica*ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾉﾙｳﾞｪｼﾞｶ, Dt= *Dinophysis tripos* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾄﾘﾎﾟｽ

Dm=*Dinophysis mitra* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾐﾄﾗ, Dc=*Dinophysis caudata*ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ　ｺｳﾀﾞｰﾀ

Di=*Dinophysis infundibula* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ｲﾝﾌｧﾝﾃﾞﾌﾞﾗ, Dru=*Dinophysis rudgei* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾙｼﾞｪｲ

Dro=*Dinophysis rotundata* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾛﾃｭﾝﾀﾞﾀ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾東部に出現しています。噴火湾西部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾東部、噴火湾西部に出現しています。

4月上旬の水温は、噴火湾東部では3.6～4.6℃、噴火湾西部では3.0～4.6です。

（担当：吉田秀嗣・金森　誠）

貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ速報（YC6）

（日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋）

2015年4月15日

中央水産試験場資源管理部

地　点 （透明度m）	月日	深度 （m）	水温 （℃）	塩分 （psu）	麻痺性原因種 At 細胞/L	下痢性原因種* Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
厚岸	4/8	0	4.5	28.70	0	0	0	0	
(3.0)		5	3.6	30.59	0	0	0	0	
		10	2.5	31.59	0	0	0	0	
		12	2.2	31.77	0	0	0	0	
猿払	4/7	0	ND	ND	0	0	30	0	
ー		10	6.3	33.77	0	0	30	0	
		15	6.3	33.78	0	0	30	0	
		20	6.3	33.77	0	0	50	0	
常呂	4/13	0	3.8	31.73	0	0	0	0	
(7.0)		10	1.2	32.45	0	0	60	0	
		20	2.6	33.06	0	0	50	10	Dro
		30	3.5	33.27	0	0	0	0	
サロマ湖	4/13	0	5.5	29.22	0	0	0	0	
(2.2)		3	4.9	30.23	0	0	0	0	
		6	4.1	30.75	0	0	0	0	
		9	4.4	32.16	0	0	10	0	
		12	4.8	32.23	0	0	0	0	
		15	4.7	31.99	0	0	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ･ﾀﾏﾚﾝｾ =旧名 ﾌﾟﾛﾄｺﾞﾆｵﾗｯｸｽ･ﾀﾏﾚﾝｼｽ

Aa = Alexandrium affineｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ･ｱﾌｨﾈ（無毒種）

Df=Dinophysis fortii ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾌｫﾙﾃｨ,　Da=Dinophysis acuminata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀ

Dro=Dinophysis rotundata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾛﾂﾝﾀﾞｰﾀ,　Di=Dinophysis infundibula ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｲﾝﾌｧﾝﾃﾞｨﾌﾞﾗ

Dm=Dinophysis mitra ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾐﾄﾗ, Dn=Dinophysis norvegica ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾉﾙｳﾞｪｼﾞｶ, Dru=Dinophysis rudgei ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾙｼﾞｪｲ

コメント

4月中旬の厚岸、猿払、常呂、サロマ湖海域では、麻痺性貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝAtの出現はありません。

下痢性貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝは、ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀとﾛﾂﾝﾀﾞｰﾀが出現しています。

（担当：海洋環境グループ　品田晃良、嶋田　宏）

貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ速報（HKO7）

（函館水試担当地区）

2015年3月30日

函館水産試験場調査研究部

地　点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	麻痺性原因種 *At* 細胞/L	麻痺性原因種 *A*.o. 細胞/L	下痢性原因種* *D.fortii* 細胞/L	下痢性原因種* *D.acum.* 細胞/L	下痢性原因種* *D*属の他種 細胞/L	備考
鹿部	3/19	0	3.5	32.40	0	0	0	120	0	
噴火湾湾口部		5	2.9	32.49	10	0	0	210	0	
4.5		10	2.3	32.50	0	0	0	80	0	
		15	2.2	32.49	0	0	0	20	0	
		20	2.4	32.55	0	0	0	70	0	
		25	2.3	32.65	0	0	0	0	0	
		30	2.4	32.70	0	0	0	10	0	
		40	2.4	32.73	0	0	0	0	0	

**D.fortii=Dinophysis fortii* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾌｫﾙﾃｲ; *D.acum.=Dinophysis acuminata* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀ

Alexandrium ｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ =旧名 ﾌﾟﾛﾄｺﾞﾆｵﾗｯｸｽ, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*

Dn=*Dinophysis norvegica*ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾉﾙｳﾞｪｼﾞｶ, Dt= *Dinophysis tripos* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾄﾘﾎﾟｽ

Dm=*Dinophysis mitra* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾐﾄﾗ, Dc=*Dinophysis caudata*ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ　ｺｳﾀﾞｰﾀ

Di=*Dinophysis infundibula* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ｲﾝﾌｧﾝﾃﾞﾌﾞﾗ, Dru=*Dinophysis rudgei* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾙｼﾞｪｲ

Dro=*Dinophysis rotundata* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾛﾃｭﾝﾀﾞﾀ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾湾口部に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾湾口部に出現しています。

3月中旬の水温は、噴火湾湾口部では2.2～3.5℃です。

（担当：吉田秀嗣・金森誠・佐藤政俊）

貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ速報（HK06）

（函館水試担当地区）

2015年3月23日

函館水産試験場調査研究部

地　点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	麻痺性原因種 *At* 細胞/L	麻痺性原因種 *A*.o. 細胞/L	下痢性原因種* *D.fortii* 細胞/L	下痢性原因種* *D.acum.* 細胞/L	下痢性原因種* *D*属の他種 細胞/L	備考
八雲	3/16	0	3.2	31.88	0	0	0	90	0	
噴火湾西部		5	2.9	32.33	0	0	0	80	0	
5.0		10	2.6	32.54	0	0	0	0	0	
		15	2.6	32.58	0	0	0	10	0	
		20	2.5	32.62	0	0	0	0	0	
		25	2.6	32.70	0	0	0	0	0	
		30	2.6	32.77	0	0	0	0	0	
森	3/17	0	3.2	32.08	10	0	0	190	0	
噴火湾西部		10	2.8	32.61	0	0	0	70	0	
4.5		20	2.3	32.70	0	0	0	0	0	
		30	2.4	32.72	0	0	0	0	0	

**D.fortii=Dinophysis fortii* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾌｫﾙﾃｨ; *D.acum.=Dinophysis acuminata* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀ

Alexandrium ｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ =旧名 ﾌﾟﾛﾄｺﾞﾆｵﾗｯｸｽ, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*

Dn=*Dinophysis norvegica*ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾉﾙｳﾞｪｼﾞｶ, Dt= *Dinophysis tripos* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾄﾘﾎﾟｽ

Dm=*Dinophysis mitra* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾐﾄﾗ, Dc=*Dinophysis caudata*ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ｺｳﾀﾞｰﾀ

Di=*Dinophysis infundibula* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ｲﾝﾌｧﾝﾃﾞﾌﾞﾗ, Dru=*Dinophysis rudgei* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾙｼﾞｪｲ

Dro=*Dinophysis rotundata* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾛﾃｭﾝﾀﾞﾀ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾西部に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾西部に出現しています。

3月中旬の水温は、噴火湾西部では2.3～3.2℃です。

（担当：吉田秀嗣・金森誠・佐藤政俊）

貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ速報（YC5）

（日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋）

2015年3月20日

中央水産試験場資源管理部

地　点 （透明度m）	月日	深度 （m）	水温 （℃）	塩分 （psu）	麻痺性原因種 At 細胞/L	下痢性原因種* Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
厚岸	3/18	0	2.8	30.59	0	0	0	0	
(3.3)		5	1.3	32.03	0	0	0	10	Dru
		10	0.8	32.37	0	0	0	0	
		12	1.1	32.55	0	0	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ･ﾀﾏﾚﾝｾ =旧名 ﾌﾟﾛﾄｺﾞﾆｵﾗｯｸｽ･ﾀﾏﾚﾝｼｽ

Aa = Alexandrium affineｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ･ｱﾌｨﾈ（無毒種）

Df=Dinophysis fortii ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾌｫﾙﾃｨ,　Da=Dinophysis acuminata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀ

Dro=Dinophysis rotundata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾛﾂﾝﾀﾞｰﾀ,　Di=Dinophysis infundibula ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｲﾝﾌｧﾝﾃﾞｨﾌﾞﾗ

Dm=Dinophysis mitra ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾐﾄﾗ, Dn=Dinophysis norvegica ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾉﾙｳﾞｪｼﾞｶ, Dru=Dinophysis rudgei ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾙｼﾞｪｲ

コメント

3月中旬の太平洋東部(厚岸)海域では、麻痺性貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝAtは
出現していません。

下痢性貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝは、ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾙｼﾞｪｲがわずかに出現しています。

（担当：海洋環境グループ　品田晃良、嶋田　宏）

貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ速報（YC4）

（日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋）

2015年3月16日

中央水産試験場資源管理部

地　点 （透明度m）	月日	深度 （m）	水温 （℃）	塩分 （psu）	麻痺性原因種 At 細胞/L	下痢性原因種* Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
標津	3/13	0	−1.1	31.77	0	0	0	0
（6.0）		5	−1.1	31.78	0	0	0	0
		10	−1.1	31.81	0	0	0	0
		15	−1.0	31.98	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ･ﾀﾏﾚﾝｾ =旧名 ﾌﾟﾛﾄｺﾞﾆｵﾗｯｸｽ･ﾀﾏﾚﾝｼｽ

Aa = Alexandrium affineｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ･ｱﾌｨﾈ（無毒種）

Df=Dinophysis fortii ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾌｫﾙﾃｨ, Da=Dinophysis acuminata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀ

Dro=Dinophysis rotundata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾛﾂﾝﾀﾞｰﾀ, Di=Dinophysis infundibula ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｲﾝﾌｧﾝﾃﾞｨﾌﾞﾗ

Dm=Dinophysis mitra ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾐﾄﾗ, Dn=Dinophysis norvegica ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾉﾙｳﾞｪｼﾞｶ, Dru=Dinophysis rudgei ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾙｼﾞｪｲ

コメント

3月中旬の根室海峡(標津)海域では、麻痺性貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝAtは
出現していません。

下痢性貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝも出現していません。

（担当：海洋環境グループ　品田晃良、嶋田　宏）

貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ速報（HKO5）

（函館水試担当地区）

2015年3月11日

函館水産試験場調査研究部

地　点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	麻痺性原因種 *At* 細胞/L	麻痺性原因種 *A*.o. 細胞/L	下痢性原因種* *D.fortii* 細胞/L	下痢性原因種* *D.acum.* 細胞/L	下痢性原因種* *D*属の他種 細胞/L	備考
静内	3/6	0	1.2	32.32	0	0	0	20	0	
太平洋中部		10	1.0	32.37	0	0	0	20	0	
4.0		20	1.0	32.44	0	0	0	0	0	
		30	1.0	32.68	0	0	0	0	0	
虻田	3/9	0	3.1	30.25	0	0	0	20	0	
噴火湾東部		5	2.6	32.54	0	0	0	30	0	
8.5		10	2.5	32.55	0	0	0	30	0	
		15	2.5	32.58	0	0	0	10	0	
		20	2.5	32.58	0	0	0	10	0	
		25	2.5	32.61	0	0	0	0	0	

＊*D.fortii*=*Dinophysis fortii* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾌｫﾙﾃｨ; *D.acum*.=*Dinophysis acuminata* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀ

Alexandrium ｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ =旧名 ﾌﾟﾛﾄｺﾞﾆｵﾗｯｸｽ, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*

Dn=*Dinophysis norvegica*ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾉﾙｳﾞｪｼﾞｶ, Dt= *Dinophysis tripos* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾄﾘﾎﾟｽ

Dm=*Dinophysis mitra* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾐﾄﾗ, Dc=*Dinophysis caudata*ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ｺｳﾀﾞｰﾀ

Di=*Dinophysis infundibula* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ｲﾝﾌｧﾝﾃﾞﾌﾞﾗ, Dru=*Dinophysis rudgei* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾙｼﾞｪｲ

Dro=*Dinophysis rotundata* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾛﾃｭﾝﾀﾞﾀ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾東部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾東部に出現しています。

3月上旬の水温は、太平洋中部では1.0～1.2℃、噴火湾東部では2.5～3.1℃です。

（担当：吉田秀嗣・金森誠・佐藤政俊）

貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ速報（HKO4）

（函館水試担当地区）

2015年3月9日

函館水産試験場調査研究部

地　点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	麻痺性原因種 *At* 細胞/L	麻痺性原因種 *A*.o. 細胞/L	下痢性原因種* *D.fortii* 細胞/L	下痢性原因種* *D.acum.* 細胞/L	下痢性原因種* *D*属の他種 細胞/L	備考
知内	3/3	0	7.3	33.63	0	0	0	0	0	
津軽海峡		10	7.7	33.90	0	0	0	0	0	
14.0		20	7.9	34.00	0	0	0	0	0	

＊*D.fortii*=*Dinophysis fortii* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾌｫﾙﾃｲ; *D.acum*.=*Dinophysis acuminata* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀ

Alexandrium ｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ =旧名 ﾌﾟﾛﾄｺﾞﾆｵﾗｯｸｽ, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*

Dn=*Dinophysis norvegica*ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾉﾙｳﾞｪｼﾞｶ, Dt= *Dinophysis tripos* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾄﾘﾎﾟｽ

Dm=*Dinophysis mitra* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾐﾄﾗ, Dc=*Dinophysis caudata*ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ　ｺｳﾀﾞｰﾀ

Di=*Dinophysis infundibula* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ｲﾝﾌｧﾝﾃﾞﾌﾞﾗ, Dru=*Dinophysis rudgei* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾙｼﾞｪｲ

Dro=*Dinophysis rotundata* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾛﾃｭﾝﾀﾞﾀ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、津軽海峡には出現していません。

3月上旬の水温は、津軽海峡では7.3～7.9℃です。

（担当：吉田秀嗣・金森誠・佐藤政俊）

貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ速報（YC3）

（日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋）

2015年2月18日

中央水産試験場資源管理部

地　点 （透明度m）	月日	深度 （m）	水温 （℃）	塩分 （psu）	麻痺性原因種 At 細胞/L	下痢性原因種* Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
標津	2/17	0	−0.8	31.92	0	0	0	0
（10.0）		5	−0.8	31.91	0	0	0	0
		10	−0.8	31.91	0	0	10	0
		15	−0.8	31.91	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ･ﾀﾏﾚﾝｾ =旧名 ﾌﾟﾛﾄｺﾞﾆｵﾗｯｸｽ･ﾀﾏﾚﾝｼｽ

Aa = Alexandrium affineｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ･ｱﾌｨﾈ（無毒種）

Df=Dinophysis fortii ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾌｫﾙﾃｨ, Da=Dinophysis acuminata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀ

Dro=Dinophysis rotundata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾛﾂﾝﾀﾞｰﾀ, Di=Dinophysis infundibula ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｲﾝﾌｧﾝﾃﾞｨﾌﾞﾗ

Dm=Dinophysis mitra ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾐﾄﾗ, Dn=Dinophysis norvegica ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾉﾙｳﾞｪｼﾞｶ, Dru=Dinophysis rudgei ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾙｼﾞｪｲ

コメント

2月中旬の根室海峡(標津)海域では、麻痺性貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝAtは
出現していません。

下痢性貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝは、ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀがわずかに出現しています。

（担当：海洋環境グループ　品田晃良、嶋田　宏）

貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ速報（HKO3）

（函館水試担当地区）

2015年2月17日

函館水産試験場調査研究部

地 点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	麻痺性原因種 *At* 細胞/L	麻痺性原因種 *A*.o. 細胞/L	下痢性原因種* *D.fortii* 細胞/L	下痢性原因種* *D.acum.* 細胞/L	下痢性原因種* *D*属の他種 細胞/L	備考
静内	2/12	0	1.2	32.49	0	0	0	20	0	
太平洋中部		10	1.0	32.52	0	0	0	40	0	
8.0		20	1.1	32.57	0	0	0	20	0	
		30	1.4	32.72	0	0	0	0	0	
虻田	2/4	0	5.4	33.70	0	0	0	0	0	
噴火湾東部		5	5.4	33.71	0	0	0	0	0	
18.0		10	5.4	33.71	0	0	0	0	0	
		15	5.4	33.72	0	0	0	0	0	
		20	5.5	33.77	0	0	0	0	0	
		25	5.5	33.77	0	0	0	0	0	
八雲	2/12	0	4.1	33.42	0	0	0	10	0	
噴火湾西部		5	4.0	33.52	0	0	0	0	0	
9.0		10	4.0	33.53	0	0	0	0	0	
		15	4.1	33.54	0	0	0	0	0	
		20	4.1	33.54	0	0	0	0	0	
		25	4.3	33.58	0	0	0	0	0	
		30	4.4	33.60	0	0	0	0	0	
知内	2/16	0	6.7	33.85	0	0	0	0	0	
津軽海峡		10	6.5	33.84	0	0	0	20	0	
14.0		20	6.5	33.84	0	0	0	10	0	

**D.fortii=Dinophysis fortii* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾌｫﾙﾃｨ; *D.acum.=Dinophysis acuminata* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀ

Alexandrium ｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ =旧名 ﾌﾟﾛﾄｺﾞﾆｵﾗｯｸｽ, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*

Dn=*Dinophysis norvegica*ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾉﾙｳﾞｪｼﾞｶ, Dt= *Dinophysis tripos* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾄﾘﾎﾟｽ

Dm=*Dinophysis mitra* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾐﾄﾗ, Dc=*Dinophysis caudata*ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ｺｳﾀﾞｰﾀ

Di=*Dinophysis infundibula* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ｲﾝﾌｧﾝﾃﾞﾌﾞﾗ, Dru=*Dinophysis rudgei* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾙｼﾞｪｲ

Dro=*Dinophysis rotundata* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾛﾃｭﾝﾀﾞﾀ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾西部、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾西部、津軽海峡に出現しています。噴火湾東部には出現していません。

2月上旬の水温は、噴火湾東部では5.4～5.5℃です。

2月中旬の水温は、太平洋中部では1.0～1.4℃、噴火湾西部では4.0～4.4℃、津軽海峡では6.5～6.7℃です。

（担当：吉田秀嗣・金森誠・佐藤政俊）

貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ速報（YC2）

（日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋）

2015年2月9日

中央水産試験場資源管理部

地　点 （透明度m）	月日	深度 （m）	水温 （℃）	塩分 （psu）	麻痺性原因種 At 細胞/L	下痢性原因種* Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
厚岸	2/6	0	−0.9	31.97	0	0	0	0
(4.0)		5	−0.7	32.06	0	0	0	0
		10	−0.1	32.23	0	0	10	0
		13	−0.1	32.22	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ･ﾀﾏﾚﾝｾ =旧名 ﾌﾟﾛﾄｺﾞﾆｵﾗｯｸｽ･ﾀﾏﾚﾝｼｽ

Aa = Alexandrium affineｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ･ｱﾌｨﾈ（無毒種）

Df=Dinophysis fortii ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾌｫﾙﾃｨ,　Da=Dinophysis acuminata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀ

Dro=Dinophysis rotundata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾛﾂﾝﾀﾞｰﾀ,　Di=Dinophysis infundibula ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｲﾝﾌｧﾝﾃﾞｨﾌﾞﾗ

Dm=Dinophysis mitra ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾐﾄﾗ, Dn=Dinophysis norvegica ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾉﾙｳﾞｪｼﾞｶ, Dru=Dinophysis rudgei ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾙｼﾞｪｲ

コメント

2月上旬の太平洋東部(厚岸)海域では、麻痺性貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝAtは
出現していません。

下痢性貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝは、ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀがわずかに出現しています。

（担当：海洋環境グループ　品田晃良、嶋田　宏）

貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ速報（HKO2）

（函館水試担当地区）

2015年2月2日

函館水産試験場調査研究部

地　点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	麻痺性原因種 *At* 細胞/L	麻痺性原因種 *A*.o. 細胞/L	下痢性原因種* *D.fortii* 細胞/L	下痢性原因種* *D.acum.* 細胞/L	下痢性原因種* *D*属の他種 細胞/L	備考
静内	1/19	0	3.0	32.83	0	0	0	10	0	
太平洋中部		10	3.0	32.86	0	0	0	20	0	
10.0		20	3.1	32.87	0	0	0	20	0	
		30	3.3	32.98	0	0	0	0	0	
虻田	1/19	0	5.7	33.77	0	0	0	0	0	
噴火湾東部		5	5.8	33.77	0	0	0	0	0	
13.0		10	5.8	33.77	0	0	0	0	0	
		15	5.7	33.78	0	0	0	0	0	
		20	5.6	33.79	0	0	0	0	0	
		25	5.6	33.78	0	0	0	0	0	
八雲	1/25	0	4.5	33.79	0	0	0	0	0	
噴火湾西部		5	4.5	33.79	0	0	0	0	0	
9.5		10	4.5	33.78	0	0	0	0	0	
		15	4.4	33.78	0	0	0	0	0	
		20	4.4	33.78	0	0	0	0	0	
		25	4.4	33.77	0	0	0	0	0	
		30	4.4	33.78	0	0	0	0	0	

**D.fortii=Dinophysis fortii* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾌｫﾙﾃｨ; *D.acum.=Dinophysis acuminata* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀ

Alexandrium ｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ =旧名 ﾌﾟﾛﾄｺﾞﾆｵﾗｯｸｽ, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*

Dn=*Dinophysis norvegica*ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾉﾙｳﾞｪｼﾞｶ, Dt= *Dinophysis tripos* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾄﾘﾎﾟｽ

Dm=*Dinophysis mitra* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾐﾄﾗ, Dc=*Dinophysis caudata*ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ　ｺｳﾀﾞｰﾀ

Di=*Dinophysis infundibula* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ｲﾝﾌｧﾝﾃﾞﾌﾞﾗ, Dru=*Dinophysis rudgei* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾙｼﾞｪｲ

Dro=*Dinophysis rotundata* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾛﾃｭﾝﾀﾞﾀ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾西部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、太平洋中部に出現しています。噴火湾東部、噴火湾西部には出現していません。

1月中旬の水温は、太平洋中部では3.0～3.3℃、噴火湾東部では5.6～5.8℃です。
1月下旬の水温は、噴火湾西部では4.4～4.5℃です。

（担当：吉田秀嗣・金森誠・佐藤政俊）

貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ速報（HKO1）

（函館水試担当地区）

2015年1月20日

函館水産試験場調査研究部

地　点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	麻痺性原因種 *At* 細胞/L	 *A*.o. 細胞/L	下痢性原因種* *D.fortii* 細胞/L	 *D.acum.* 細胞/L	 *D*属の他種 細胞/L	備考
知内	1/19	0	8.8	33.97	0	0	0	0	0	
津軽海峡		10	8.9	34.01	0	0	0	0	0	
16.0		20	8.9	34.02	0	0	0	0	0	

＊*D.fortii*=*Dinophysis fortii* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾌｫﾙﾃｲ; *D.acum*.=*Dinophysis acuminata* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀ

Alexandrium ｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ =旧名 ﾌﾟﾛﾄｺﾞﾆｵﾗｯｸｽ, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*

Dn=*Dinophysis norvegica*ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾉﾙｳﾞｪｼﾞｶ, Dt= *Dinophysis tripos* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾄﾘﾎﾟｽ

Dm=*Dinophysis mitra* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾐﾄﾗ, Dc=*Dinophysis caudata*ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ　ｺｳﾀﾞｰﾀ

Di=*Dinophysis infundibula* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ｲﾝﾌｧﾝﾃﾞﾌﾞﾗ, Dru=*Dinophysis rudgei* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾙｼﾞｪｲ

Dro=*Dinophysis rotundata* ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾛﾃｭﾝﾀﾞﾀ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、津軽海峡には出現していません。

1月中旬の水温は、津軽海峡では8.8～8.9℃です。

（担当：吉田秀嗣・金森誠・佐藤政俊）

貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ速報（YC1）

（日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋）

2015年1月16日

中央水産試験場資源管理部

地　点 （透明度m）	月日	深度 （m）	水温 （℃）	塩分 （psu）	麻痺性原因種 At 細胞/L	下痢性原因種* Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
標津	1/14	0	2.5	32.22	0	0	30	0
（10.0）		5	2.4	32.23	0	0	10	0
		10	2.4	32.23	0	0	0	0
		15	2.4	32.23	0	0	0	0
厚岸	1/13	0	1.3	32.06	0	0	10	0
（3.5）		5	1.3	32.16	0	0	0	0
		10	1.6	32.40	0	0	30	0
		13	1.6	32.40	0	0	10	0

*At = Alexandrium tamarenseｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ･ﾀﾏﾚﾝｾ =旧名 ﾌﾟﾛﾄｺﾞﾆｵﾗｯｸｽ･ﾀﾏﾚﾝｼｽ

Aa = Alexandrium affineｱﾚｷｻﾝﾄﾞﾘｳﾑ･ｱﾌｨﾈ（無毒種）

Df=Dinophysis fortii ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾌｫﾙﾃｨ,　Da=Dinophysis acuminata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀ

Dro=Dinophysis rotundata ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾛﾂﾝﾀﾞｰﾀ,　Di=Dinophysis infundibula ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｲﾝﾌｧﾝﾃﾞｨﾌﾞﾗ

Dm=Dinophysis mitra ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾐﾄﾗ, Dn=Dinophysis norvegica ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ﾉﾙｳﾞｪｼﾞｶ, Dru=Dinophysis rudgei ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ ﾙｼﾞｪｲ

コメント

1月中旬の根室海峡(標津)および太平洋東部(厚岸)海域では、麻痺性貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝAtは出現していません。

下痢性貝毒ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝは、ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ･ｱｷｭﾐﾅｰﾀがわずかに出現しています。

（担当：海洋環境グループ　品田晃良、嶋田　宏）